

GOLD'S GYM

BASEBALL CLUB

EST.2006

2014 OFFICIAL YEAR BOOK

ゴールドジムベースボールクラブ
公式イヤーブック

www.ggbc.com

ゴールドジムベースボールクラブ ヒストリー

HISTORY of 2005



2005年5月10日
初期のGGベース
ボールチーム。
思い出の若手芸人
チームとの対戦。

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	PL	1B	2B	3B	SS	LF	CF	RF	P	CO
子鹿丸	0	0	0	2	0	0	0	1	0		3	5	1		江	橋	鈴						
シリアス	4	0	2	1	0	2	1	1	0	X	20	24	2		原	本	三	木					



1度目の
プロ・アマ
交流戦



2007年4月28日
初公式戦の相手は東京LBC。総力戦で望むも、惜しくも破れる。

2009年7月10日
vs シリアス
読売ジャイアンツ



2度目の
プロ・アマ
交流戦

2011年5月21日
プロ・アマ交流戦
読売ジャイアンツ第2の2軍
読売ジャイアンツ球場



GOLD'S GYM 1-3 巨人

2005

2010



2009年11月23日 あきる野市長杯 優勝
チーム初優勝は、2009年あきるの市長杯。この優勝が、
現在の東京NO.1チームへの礎となった。



2010年6月19日
対ゴールデンゴルス戦観客は
なんと3,000人を超えた。



2010年8月14日
2回目の顔合わせとなるゴールデン
ゴルスとの試合は緊迫した接戦で結果はドロー。



2010年4月3日 エイデン愛工大ブリッツとの親善試合



2010年10月23日 滋賀遠征 ひわこ杯 対 滋賀高島ベースボールクラブ

2014

3度目の プロ・アマ 交流戦

2012年7月7日、
9月1日 プロ・アマ交流戦
ヤクルトスワローズ 美女ホグランド



2011年10月6日
プロ・アマ交流戦
読売ジャイアンツ第2の2軍
読売ジャイアンツ球場
GOLD'S GYM **0-3** 巨人

7月7日 GOLD'S GYM **4-7** ヤクルトスワローズ
(雨天3回終了)

9月1日 GOLD'S GYM **0-9** ヤクルトスワローズ

4度目の プロ・アマ 交流戦

2014年7月15日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場

GOLD'S GYM **2-2** 巨人



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	PL	1B	2B	3B	SS	LF	CF	RF	P	投手	打者
巨人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	1	宇佐美	江	杉	本	野	角	田	中	野	野	
読売	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	9	1	宇	佐	美	野	角	田	中	野	野		

5度目の プロ・アマ 交流戦

2014年9月4日
読売ジャイアンツ
読売ジャイアンツ球場

GOLD'S GYM **2-2** 巨人



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E	PL	1B	2B	3B	SS	LF	CF	RF	P	投手	打者
巨人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	玉	江	橋	本	野	角	田	中	野	野	
読売	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	8	2	豊	前	本	田	野	角	田	中	野	野	



2011

2012

2014



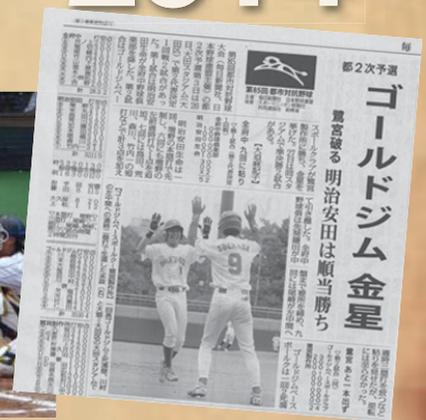
2011年9月12日 東京クラブ秋季大会 優勝



2011年5月3日 東京クラブ春季大会 優勝



2012年10月8日 さいたま市長杯
第19回JABA選抜クラブ対抗野球関東大会 優勝



第85回 都市対抗野球大会
東京二次予選
VS 鷺宮製作所



2011年6月20日(月)
第82回 都市対抗野球大会
東京都代表決定戦 二次予選
vs NTT東日本



2011年7月10日(日)
第36回全日本クラブ選手権大会
南関東二次予選一回戦 対 横浜金港クラブ



2011年10月29日
第4回JABA関東連盟
クラブ選手権大会準優勝



フォトギャラリー

Photo Gallery



一球に



懸ける



想心

ゴールドジム ベースボールクラブの方針

- 1、技術練習の不足をフィジカル強化で補う。
- 1、負けた原因は、自己から招いたミスと、認識し改善をする。
- 1、勝っておごらず、負けて乱れず、真の競技者となる。
- 1、目標達成と成功は異なる。成功とは一歩ずつでも進む歩みなり。
何年も進む(前進)することに価値あり。
- 1、勝利の喜びも、敗北のくやしさも競技者であることの証である。
いつの日かおとずれる競技者からの卒業へ向け、一日一日を大切に、かつ有意義に過ごす。

そして、野球を通じて実社会における行動や考え方を学ぼう。人生における大切な人間関係やチームワーク、そして一歩先を予測して準備する考え方と、それを実行する能力を野球がくれた「宝物」とする。

それを生涯において大事に役立ててもらふことを、最大の願いとし、このチームで永きにおいて活動できることを目標とする。



監督 **手塚 栄司**
Eiji Tezuka

本年度も多くの皆さまのご支援の下、ゴールドジムベースボールクラブの活動が出来ましたことに御礼申し上げます。そしてこの活動は、連盟の方々のご尽力、ゴールドジムスタッフの方々の理解と協力、関係者の方々の様々な心からの協力の下、成り立っていることによりチーム全体が大変価値ある素晴らしい経験をさせて頂いています。

いつか皆さまには御礼だけでなく、この恩義に対して何らかの形でお返し出来ればと願っております。

そして我々チームは今年納得出来る成績ではありませんでしたが、選手個人々の社会人としての心の成長は、春先と比べ大変素晴らしいものであり、キャプテンを中心とするチームワークが生まれ、仕事との両立で厳しく大変な中、お互いを叱咤激励し合い頑張った結果、この半年の間に随分成長のあとが感じられます。人はその人の努力により成長し、あらゆる変化が可能であることを学び続け、それを是非仕事でも活かしてもらいたいと願います。

最後に幾人かの選手には怪我で辛い思いをさせていただきました。これは本当に残念なことで心より悔やまれます。来年はこのような事がないよう、今まで以上に勉強して、怪我をせずに全力でプレー出来る この一見矛盾するようなことが実現出来るように、そしてそれを仕事にも活かせるようにして参ります。

どうかこれからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



ヘッドコーチ
上田 浩明
Hiroaki Ueda

まずは、社長をはじめマネージャー、裏方の役目をしてしてくれている選手、そして選手の穴を埋めてくださっている店舗社員の皆様に御礼申し上げます。
今年も、得手不得手が全面に出たシーズンだったと思います。勝つ時は何処にも負けない強さを出せますが、負ける時は何処にも勝てない様な試合運びになってしまうような脆い部分が出てしまった...そんな極端なシーズンだったと反省します。来年は個々が考え工夫していけるチームになっていけたら結果に繋がりが仕事の面にもいきてくるのではないかと考えます。



部長 **出井 一茂**
Kazushige Dei

戦績はまだ満足のものではありませんでしたが、新戦力と以前からの選手との競争意識もより一層増し、怪我からの復帰組も皆一生懸命にチーム活動に取り組んでいたと思います。野球を通じて学ぶ事はまだまだ山ほどあります。仕事において必ず活かせる部分ですので、引き続き感謝の気持ちとチームで勝つ喜びを分かち合いながら、お互いの事を真剣に考え、切磋琢磨して行ける関係性をより一層強いものにして欲しいと思っています。
その上で私たちの活動は、周囲の協力と理解があって成立している部分が多分にある事をもう一度念頭に置いて感謝し、仕事とチーム活動において、しっかりと各自が結果を出し、周囲へ恩返し出来る様、常に全力、常に一所懸命を基本に、来年も前進して行きましょう。



内野手／主将
仁田 真彦
Masahiko Nita

まず始めに、いつも大会に応援に来ていただいている下さる方々、野球部員のために調整して下さる責任者の方々、試合にて撮影をして下さる荒関さん、練習場、オープン戦の日程を組んで下さる長谷川さん、皆様のご協力なくして野球部の活動はありません。心より感謝を申し上げます。
今年一年、キャプテンをやらせて頂きましたがチームが同じ方向、目標に向かえていなかったのではないかと思います。練習、試合にしても自分中心で何も考えずに動いている印象が強く残ります。そんな中でもこれではまずいと思った選手が何人いたでしょうか?来年はチーム全員が同じ方向、目標に向かっていけるようまた、選手全員で練習、試合での雰囲気を作っていけるようにキャプテンとして精一杯の努力をしますのでもよろしくお願いたします。
最後にこのような環境で野球をやらせていただいている手塚監督、いつもご指導して下さい上田コーチ、ありがとうございます。来年こそは全国大会にて勝ち続けるよう頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

捕手 **岡芹 隼**

今シーズン怪我から復帰し試合に使っていただける機会がありましたが全く貢献できず、足を引っ張ってしまうことばかりで情けない1年でした。チームとしても全国大会に出場することが出来ず、応援してくださっている皆様へ結果として恩返しすることが出来ませんでした。
29歳になり、このすばらしい環境で野球をやらせていただける事に感謝の気持ちと野球ができる喜びを強く感じております。いつも応援に来てくださっている方々、店舗のスタッフの皆様にも2015年は仕事も野球も姿勢と結果で恩返しします。
今年も1年間ありがとうございました。来年も宜しくお願致します。

外野手 **米倉 拓也**

今年を振り返ると、とにかく4月の大怪我が全てでした。怪我を通じて、今まで見たこともなかった医療の現場を見れたこと、改めて野球が好きだという気持ちが確認できたことは決して忘れてはならない収穫ですし、この期間、職場・家族・チームに多大な迷惑や心配を掛けたことは今後さまざまな形で恩返しが出来ればと思っています。来年は、まずは怪我をしないことに尽きますが、仕事・家庭・野球の3本柱を上手く両立させ、部下の良い見本となれるよう努力してまいります。

内野手 **三井 悠嗣**

今年度もたくさんの方々に応援、支援してくださりとても感謝しております。その反面、期待に沿うような結果が伴わず大変申し訳ない気持ちと悔しい気持ちが残る1年間でした。都市対抗予選にも参加して、南関東の予選でもあと1歩のところまで勝ちきれないという所が今のチームの現状だと思います。応援してくださる様々な方の思いを大切にして野球を続けなくてはならないと考える1年間でした。
2015年度は、なんとしてもクラブ選手権出場、クラブ選手権優勝を目指して頑張ります。応援して下さっている方々に『応援してよかった』と言って頂ける様なチームの活躍と、社長が目指す『良いチーム』になるよう来年度も取り組んで参ります。これからも叱咤激励のほど宜しくお願致します。

投手 **齊藤 康樹**

今年も会社関係者をはじめとする多くの方々の支援があり、野球が出来たことに感謝しています。いつも本当にありがとうございます。
目標であった全日本選手権の出場が出来なかったことが非常に悔しいシーズンとなりました。
来年は、野球が出来ることを当たり前と思わず、感謝の気持ちを常に持ちプレーしていきたいです。
その中で結果で恩返し出来るよう、来年こそは全国大会への切符を取れるよう努力して行きます。
また今年肘の手術をしたので、まずはリハビリをしっかり行なう中で、治すのはもちろんのこと、トレーナーとしての知識を身につけ、仕事の方へ繋げていけるよう努力して行きます。

外野手 田中 道太郎

今年には私にとって社会人としてのスタートでした。社会人として仕事をしっかりと行えるのかという不安が大きい中で、さらに仕事と競技との両立という不安もありました。仕事ではトレーナーとして、接客業として、当り前ではありますが初めてのことはばかりで戸惑うことも多くありました。競技では学生ほど時間が多く取れない中での難しさ。このような中で一番感じたことは周りの支えでした。職場の方達のシフトの協力やアドバイス、時にはお客様から頑張れよといった温かいお言葉をいただくこともありました。自分一人の力で働けているのではないのだと感じることのできる年でした。来年以降も皆様への感謝を忘れずに仕事と競技を頑張っていこうと思います。最後に我々野球部を見えないところで支えてくださっている長谷川さんをはじめ、本社の方々へ感謝します。

投手 本間 奨基

この一年は、今までの学生野球のように野球だけではなく、仕事と、トレーニングや勉強なども両立しなければいけなく、今まで一つのことには集中できなかった私は大変苦労しました。野球人生で初めて肩を痛めて投げられない時期が約半年間も続きましたが、なんとか後半は野球も復帰し、両立することができました。社会人野球が一年できたおかげで、貴重な経験をする事ができ、自分自身の成長に繋がれたと思います。これもいつも支えてくださる方々のおかげであり、店舗で協力していただいている方々に本当に感謝しております。来年は、より成長できるように考えて、実行していきます。

内野手 塩田 貴大

今年チームとしても個人としても納得のいく結果を出せず、シーズン途中で怪我もしてしまい、思うようにプレーができないうちも悔しい一年でした。来年は日頃から怪我のしない強い身体作りをし、練習の時から声とプレーでチームを引っ張る気持ちを持ち、チーム、そして個人として納得のいく結果を出す為に勝つことに強いこだわりをもってプレーしていきたいと思ひます。

外野手 川村 拓真

今年一年野球をやらせて頂きありがとうございました。シフト調整で動いていただいたスタッフ、球場確保や裏で動いて頂いた方々に感謝しております。ありがとうございました。今年も、チームとして非常に良い経験ができた1年だと感じています。都市対抗二次予選で一勝あげることができたこと、技術的には勝てる訳がない相手にゴールドジムらしくチーム全体の勢いで、勝利することができました。クラブの公式戦で優勝することは出来ませんでした。それ以上の経験が出来た一年でした。今年経験できたこと、成功したことや失敗したこと多々ありますが、今後の自分たちへ野球だけでなく、社会人として成長する為の糧にし、日々勤めていきます。

内野手 鹿子島 宜美

今年1年を振り返ると、野球の技術的なことよりも人間的に大きく成長できた年になったのではないかと思います。他の野球チームの企業と違い野球だけやっていければいいという環境ではなく、仕事と野球を両立させなければいけない。そしてその仕事で野球にリンクするという特別な環境の中で、忙しく大変だった反面、これほど楽しく充実した1年はなかったと思います。今野球が当たり前でできていて仕事ができるのも、多くの方々の協力があったこそ、当然迷惑も掛けています。だからこそ来年は野球で結果を出し、周りの方々をはじめ会社に恩返しができるよう結果に拘って取り組んでいきます。

投手 嶋田 健人

今年1年はピッチャーとして成長できた年だと思います。大学の頃に比べ周りが見えるようになり、試合中も打者の動きなどよく見えるようになりました。また、今年には読売ジャイアンツの2軍との交流戦に2試合とも先発出来たことが非常に貴重な経験となりました。2試合とも引き分けでしたが、いずれも2失点で抑えられたことは大きな自信につながりました。来年はピッチャーとして一年間結果を残し、更に一回り成長できる年にしたいと思っています。都市対抗野球、全日本クラブ選手権と大きな大会で結果を残せるよう努力していきます。

捕手 飛田 規光

今年1年間、公式戦のみではありましたが、裏方として試合に参加させていただきました。どんな形であれ、試合の緊張感をグラントレベルで味わえることは、元野球人として幸せに感じています。現在は客観的に野球を見る事ができているため、色々な発見があります。現役時代に感じたこと、今現在感じていることなどを、これからの人材に伝え、ヒントにしてもらえるようなアドバイス等ができたらなと思っています。

内野手 村瀬 隆浩

先ず、今年1年間活動出来たのは、沢山のバックアップがあったからだ、思っています。予定の管理、球場の確保、シフトの協力、試合の応援など、本当に感謝しております。今年も、この4年間の中でも凄く印象が残る試合が沢山でき、楽しく良い思い出を作ることができました。楽しく、良い思い出ができた反面、怪我に苦しむシーズンとなりました。しかし怪我をして、初めて気づけた事が沢山ありました。怪我への対応方法やトレーニング、自らの苦しい、経験が仕事に活かせるチャンスとなりました。来年も沢山の良い思い出が出来るよう、これからは、治療とトレーニングに専念していきます。

外野手 鈴木 孝幸

まずは今年度も野球部の活動に協力していただきました方々、本当にありがとうございます。大きな結果を残すことは出来ませんが、来年度は必ず東京都での優勝を果たしたいと思ひます。今年度は、常々社長がおっしゃられていた、良いチームに少し近づいたシーズンだったと思ひます。まだまだ足りない部分も多くありますが、それは今年度の反省点として来年度への改善点として、チームとしても個人としても成長していけたら良いと思ひます。来年度も良い結果を出せる様に一杯頑張りますので変わらぬご声援を、よろしくお願ひ致します。

投手 佐藤 守

今年も、私が初めて社会人として世の中に出た年です。学生と社会人の違いの大きさに戸惑い、社会人の責任の重大さを思い知り、学生時代にお世話になった方々や親のありがたみを改めて感じました。更に、手塚社長の一つ一つの言葉がとても印象的で、内容を理解出来た時の感動、気付きが胸に残っています。来年の抱負として仕事と野球共に、やるべき基本的な事は出来るようになったのは当たり前として、プラスα何が出来るのかを考えることが、より良い環境をつくり、時間を効率よく使える方法だと思っています。仕事ではお客様、野球ではチームメイトを第一優先に出来る行動をもっと深く、細かく考えていきます。しかし、気を抜いてしまうと、感情が出てしまう時など、自分に負けてしまう時があります。大人として社会人として、相手の立場、自分の立場を考え来年も頑張ります。

外野手 末政 純

チームも個人的にもあまり良い結果とはいえない1年だったので練習への取り組み方、試合への入り方などいろいろと変化が必要だと感じる1年でした。練習への意識を変え、肉体的、技術的、精神的すべてにおいてレベルアップし誰かのミスカバー出来る選手になります。また来年は3年目になり、1、2年目は立場も変わってくるので、責任感を今まで以上に持ち野球も仕事も取り組んでいきます。

外野手 川島 尚仁

今年1年間は1番打者として多くの試合に出場させて頂きましたが大事な場面でのミス、出塁しなくてはならない場面での凡退などチームにマイナスな事しか出来なかった事本当に申し訳ない気持ちでいっぱい、私が1番打者として不満に思う選手、応援に来てくださった方々沢山の応援をありがとうございます、自分自身もそう感じた1年でした。チームに必要な選手として認めてもらえるよう1日1日の練習を真剣に取り組む、もし来年も1番打者として出場させていただけるのであれば自分の結果よりもチームの結果の方を優先に考え、自分自身、来年は全試合フルイニング出場を目標にして日々精進して参りますので御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

外野手 俵 北斗

今年を振り返ってみれば自分にとってよい経験となりました。一年目から試合に出させて頂いて結果がでないときも先輩の方達にアドバイスを頂いて自分は成長出来ました。練習の時から自分に足りないところを見つけて取り組んで練習を行って来ました。自分にとって足りないところはまだあるので練習の時から目的意識を高くもって取り組んでいく必要があります。来年は、もっとチームメイトから信頼される打者になっていきます。ここぞというところで結果の出せる打者になれるように日々の練習を疎かにしないで取り組んでいきます。

投手 吉田 創

今年に関しては、例年とは違い公式戦という舞台で投げる事が出来た年であり、実践経験も多く頂けた年となりました。投手陣として、春先から齊藤・種市に頼る形になり結果大きな怪我をさせてしまいシーズン後半になり厳しい状況となりました。

その分、島田に頑張ってもらいましたがここでも頼っている形になっている現状が投手陣として良くないと痛感した年でもあります。私はプレーヤーですが、GG野球部投手陣の中では古い人間ですので来シーズンは無理をさせない・調子を見て察知し声をかけるチームとしての役割を心がけた、行動をしていきたいと思っています。個人的に来年は、試行錯誤しながら結果を求め試合に練習に日々を大事にして皆で上を目指していきます。

内野手 河西 大樹

今年は、社会人として野球に関わることになり、大学野球とは違った緊張感とレベルで野球をすることができました。また、キャッチャーというポジションもさせていただき、私の野球人生で大変大きな経験となりました。来年は、チーム自体大会で良い結果を残せていないので、来年こそは、常勝を目指し、その中で野球をやっている事に価値を見出して、私自身もチームに貢献できるよう日々プレーしていきます。

投手 岩田 匡矢

今年を振り返ってみるとピッチングにおいて良い点と悪い点があはつきりと出た1年間でした。今年良かった点としては6月に入部してから数ヶ月で身体をしっかりと絞れたことです。体重を減らしたことによって身体のキレが以前より増しリリースが安定しました。悪い点は試合の中でフォームの修正ができない点でした。また中盤で失点することもあり身体全体の体力のなさを痛感することも多々ありました。

来年の抱負としてウエイトトレーニングと食事をもう1度見直し体力向上を行うこと及び細かいフォーム修正をインシーズンまで行い、都市対抗予選・クラブ選手権で先発・抑えどちらでも任せられるような投手になりたいです。

マネージャー 石川 留衣

今年度は私自身マネージャーとして野球部にに関わりはじめ、3か月ということもあり、選手の役に立てたと思えることがありませんでした。試合にはスコアラーとして参加し、1試合毎にたくさんの方の事を学べたと思っています。今年度の経験を来年度に繋げていきたいです。今年度はわからないことだらけで、選手の方にたくさんご迷惑をおかけしました。来年度以降はマネージャーとして、しっかりと選手一人一人のサポートをしていきたいと思っています。

2014年 引退選手

外野手

欠端 春来

年度	打率	打数	安打	打点	四球
2012	.143	7	1	1	0
2013	.375	8	3	2	0
2014	.364	11	4	5	4

今年もたくさんの方々を支えられて野球を行うことができました。とても感謝しております。競技として、野球の技術は今年も様々なことを学びながら良く向上出来たと実感があります。日々、一つ一つのプレーや動作から反省点を探し、改善し良い感触の吸収を多く行いました。今年最後の試合でも、良い感触のまま終われたのでとても嬉しいです。来年は、今年学んだスキル、良い感触を忘れず継続していき、そこからさらに自身の改善点を探し、見つけてより良いプレーヤーになれるよう精進して参ります。ご確認の程、宜しくお願致します。

投手

野中 俊孝

年度	防御率	回数	自責点	被安打	三振	四球
2014	0.00	0	0	0	0	1

今年度はダイヤモンドベガサス、読売ジャイアンツとの交流戦、都市対抗二次予選での驚異製作所戦での勝利、琵琶湖杯と様々な事がありました。特に、都市対抗二次予選では、会社全体の応援を受け、実業団チームに勝つことができ、とても嬉しかったです。ダイヤモンドベガサス、読売ジャイアンツとの交流戦は今までプロ野球がテレビの中での世界だったのが、とても身近に感じる事が出来ました。野球部としての活動は今年で終わってしまっていますが、この経験をいかして日々の業務と自身のスキル向上に努めて生きたいと思っています。2年間様々な方のお陰で野球に打ち込むことが出来ました。ありがとうございます。来年は後輩たちや仕事場でのお客様にしっかりと指導出来るよう自分の経験を活かし、野球と勉強を両立していきます。

投手

本田 優一郎

年度	防御率	回数	自責点	被安打	三振	四球
2013	27.00	0	1	2	0	0
2014	2.70	3 1/3	1	4	1	1

今年とは比べて公式戦に登板する機会が多く、都市対抗予選でも強豪チームと対戦できとても良い経験をさせて頂きました。個人的な反省点としては怪我が多かったことです。日ごろの身体のケアができていなかったことと自分の知識不足が原因です。監督やコーチ、チームメイトからの指導があったからこそ怪我也早く治すことが出来ました。私が野球をさせて頂く中で、本当に周りの皆様に支えられているのだと改めて感じる事が出来ました。試合を見に来て下さった皆様今年も応援して頂き本当にありがとうございました。来年は後輩たちや仕事場でのお客様にしっかりと指導出来るよう自分の経験を活かし、野球と勉強を両立していきます。

投手 種市 祐也

年度	防御率	回数	自責点	被安打	三振	四球
2012	2.36	45	12	35	26	19
2013	2.89	28	9	18	17	16
2014	8.50	18	17	29	9	19

本年もこうして野球ができていく背景には多くの方々のご協力があったり支えがあり、野球ができていく事に本当に感謝しております。又、球場にも足を運んで頂き、多くの応援など、ありがとうございました。私自身は本年度で退部致しますが、今後も野球ができる背景にはたくさんの方々の支えがあって、出来ていること。又、野球と仕事の両方ができるという環境に感謝をし、今後も頑張っていってこれればと思います。

投手 米持 優一

年度	防御率	回数	自責点	被安打	三振	四球
2013	2.45	11	3	12	10	4
2014	2.05	30 2/3	7	25	17	24

今年自分ができるんだという「自覚」とそれに対する「不安」を感じながら取り組んで参りました。大学時代は試合で投げる事すら出来なかった自分が、試合のマウンドに立てている事に「幸せ」を感じる事が出来ました。この体験が出来たのも手塚社長を始め、上田コーチ、先輩方からのご指導や、いつも野球部を支えてくれている方々、各部門にてシフト協力して下さった方々のお陰だと感じています。本当に感謝しております。来年は、業務の方で新たな分野に取り組ませて頂いております。その分野でしっかり結果を出すこと、その中で先を読む、視野を広げる事を心掛ける事で社会人として更なる成長出来るよう取り組んで参ります。

内野手

大畑 亮

年度	打率	打数	安打	打点	四球
2013	.412	34	14	5	7
2014	.318	66	21	16	8

2年間やらせて頂いて1年目は負ける事しか出来なかったのが2年目から勝てる良いチームになり成長したと思います。新加入した選手に刺激されたおかげで良く成長できたと思います。また、在籍していた選手でも怪我してしまったり岡岸さんや米倉さんごに思いを寄せた結果だと思っています。私は今年で引退しますが、これからも仲間と切磋琢磨し手塚社長が言う良いチームを作り勝てるように頑張ってください。

外野手

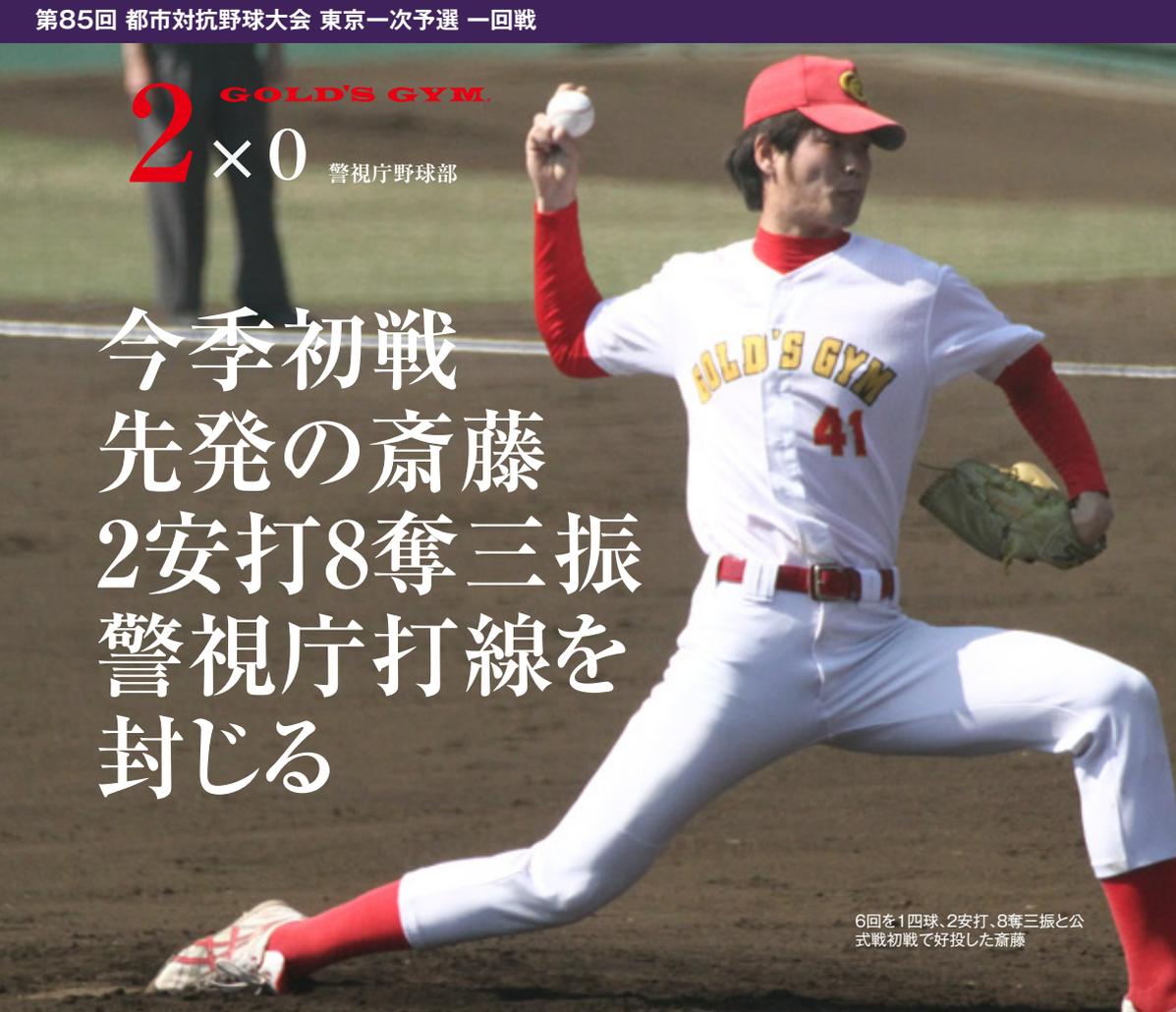
西郷 勇太

年度	打率	打数	安打	打点	四球
2013	.294	17	5	1	2
2014	.280	25	7	6	2

今年一年を振り返ってみて、チームとしては全国大会に出場できなかったことが悔しい結果となりました。ただ、自分の中で今シーズンは悔いの残らないシーズンにしよう決めて日々練習してきました。今シーズンは代打での出場が多かった為、一打席でしっかり結果を残せるように練習や試合中の準備など入念にしました。しかし、相手の投手がレベルが高くなると、なかなか結果を出せず、とても悔しかったです。その中でも、野球というスポーツを真剣に取り組みつ、楽しめたことが今年振り返って良かった点でした。自分自身、現役生活を退きますが、ゴールドジムベースボールクラブに入部して、読売ジャイアンツとの交流戦、都市対抗予選での企業チームとの試合や、様々なチームと試合できたことが良い経験になりました。そして、何よりも野球部のチームメイトの方々に出会えたこと、一緒に野球できたことが一番の思い出です。これからは、仕事面で自ら進んで動いて店舗に貢献できるように、努力していきます。

2 × **0** GOLD'S GYM. 警視庁野球部

今季初戦 先発の斎藤 2安打8奪三振 警視庁打線を 封じる



村瀬は先発斎藤をはじめ投手陣を好リードで支えた。

6回を1四球、2安打、8奪三振と公式戦初戦で好投した斎藤

2014年4月27日 府中市民球場

第85回都市対抗野球大会 東京一次予選 一回戦

警視庁野球部	000	000	000	0
GOLD'S GYM	002	000	00x	2

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	4	2	0	0	0	0	左飛	---	右前	---	二直	---	---	中前	---
2(中) 末政	1	0	1	0	1	2	四球	---	四球	---	---	三振	---	捕飛	---
3(遊) 大畑	4	1	1	0	0	0	---	---	右前	---	---	右飛	---	遊ゴ	---
4(三) 塩田	2	0	0	0	0	1	---	二ゴ	左飛	---	---	四球	---	---	---
5(右) 川村	3	0	0	0	0	0	---	左飛	---	左飛	---	三飛	---	---	---
6(一) 俵	3	1	0	0	0	0	---	---	右直	---	二飛	---	---	中前	---
— 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7 DH 三井	2	0	0	1	0	1	---	---	死球	遊飛	---	---	---	二ゴ	---
8(捕) 村瀬	2	0	0	0	0	1	---	---	二ゴ	---	死球	---	---	中飛	---
9(二) 仁田	2	0	0	1	0	1	---	---	四球	---	三ゴ	---	---	遊ゴ	---

計 23 4 2 2 1 6

盗塁:

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
斎藤	6	19	87	2	8	1	0	0
嶋田	2 2/3	12	47	3	1	1	0	0
米持	0 1/3	2	6	0	0	1	0	0

三回、三井、仁田が四球で出塁、さらに1番川島のヒットで満塁とするも末政が四球を選び押し出して先制点を奪います。続く3番の大畑は変化球を巧くとらえ、センター前にタイムリーヒットを放ち、この回2点を先制します。(G2-0K)

しかし、3回以降は7回俵のセンター前、8回川島のセンター前の二本。結局、この日のヒット数は終わってみれば4安打のみ。

しかし先発斎藤の投球が冴えました。緩急を交えたピッチングで相手に的を絞らせず計6回を1四球、2安打、8奪三振と公式戦初戦の先発という重責に好投で応えました。

7回からは嶋田、9回は2アウトランナー2、3塁のピンチで米持に交代。自らの四球で満塁とするものの、最後のバッターを三塁ゴロにしとめゲームセットとなりました。監督より試合後に選手へ「自分を客観視することで、自分自身をしっかり見つめて欲しい。何より心構えが結果につながるということを、各自意識し次の試合に備えて欲しい」とコメントがありました。



1番の川島は3回にライト前、8回にもセンター前と2安打の活躍



3回 センター前ヘタイムリーヒットを放つ大畑



六番の俵は、7回低めの球を痛烈にセンター前にはじき返した



斎藤の好投にバックも好プレーで応えた



浅いレフトフライで川島はタッチアップでホームを狙うも相手の好返球に阻まれる

2 GOLD'S GYM.
×0 鉄腕硬式野球部



先発の米持は強力打線に対し、6回3分の1を無失点に抑え役目を果たした。



種市は大学の後輩米持の後を受け、気持ちの入った投球を魅せた

米持の好投 投打が噛み合い3回戦へ

2014年4月29日 府中市民球場

第85回都市対抗野球大会 東京一次予選 二回戦

エスブライド 鉄腕硬式野球部	000	000	000	0
GOLD'S GYM	000	020	00x	2

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(右)左川島	4	1	0	1	0	0	ニゴ	---	左前	---	---	---	---	---	---
2(中)末政	2	0	1	0	1	1	右飛	---	犠打	---	四球	---	---	---	---
3(遊)大畑	4	2	1	0	0	0	中二	---	---	---	---	---	---	---	---
4(三)塩田	4	1	0	1	0	0	ニゴ	---	左直	---	左前	---	---	---	---
5(左)川村	2	0	0	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
右田中	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(一)俵	3	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 河西	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7 DH 三井	3	2	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 西郷	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PR 鹿子島	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(捕)村瀬	4	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(二)仁田	3	1	0	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	32	9	2	2	3	3									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
米持	5 1/3	26	99	6	5	5	0	0
種市	3 2/3	14	46	2	1	1	0	0

均 衡を破ったのはゴールドジム。5回、この回先頭の9番仁田が右中間へ二塁打を放ち、その後四球などで一、三塁のチャンス。三番大畑の打球は平凡な二塁ゴロ。ここで三塁ランナーの仁田は果敢にホームに滑り込み、タッチをうまくかわしホームインで先制。(G1-0T)四番の塩田も続き、カウント2-2からアウトコースのスライダーをレフト前に運ぶと、二塁ランナーの末政は俊足を生かし一気にホームへ帰還(G2-0T)

公式戦初の先発となる米持は、序盤に何度かピンチを迎えるも3回以降は変化球でカウントをとり、投球にもリズムができ6回をヒット6本、5三振、0点に抑え、その役目を果たしました。また、バトンをうけた種市も、スピードのあるストレートに、変化球も冴え、ヒット3本に抑え、2次予選進出決定戦へと駒を進めました。



大畑はツーベース2本とクリーンナップの役割を果たした



5回 仁田のセンターへの二塁打が得点への口火となった



2回ライト前にヒットを放つ俵



塩田のタイムリーで、二塁から一気にホームをつく好走塁を魅せた末政



2回にライト前、4回にもライトへ二塁打を放ち、この日2安打の三井



村瀬の好リードが2投手を支えた。

10×0

GOLD'S GYM
REVENGE99



公式戦初先発で5回を2安打に抑えた嶋田



初回、大畑のセンター犠牲フライで1点を先制。大畑はこの日2安打4打点の活躍を見せた

嶋田 5回2安打の好投!! 10得点で二次予選進出!!

2014年5月4日 府中市民球場

第85回都市対抗野球大会 東京一次予選 二次予選進出決定戦

REVENGE 99	000 000 0	0
GOLD'S GYM	130 420 X	10

(大会規定により7回コールドゲーム)

【打者】	打	安	点	得	振	四	死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	2	1	1	2	0	1		左二	遊ゴ	---	四球	打妨害	---	---	---	---
2(中) 末政	2	1	2	0	0	1		一犠	右安	---	一飛	四球	---	---	---	---
3(遊) 大畑	3	2	4	1	0	0		中犠飛	中安	---	二ゴ	右安	---	---	---	---
4(三) 塩田	3	2	1	1	0	1		中安	中飛	---	左二	四球	---	---	---	---
5(右) 川村	2	0	0	0	0	0		中飛	---	右飛	---	---	---	---	---	---
PH- 右 田中	2	1	2	0	0	0		---	---	左安	左飛	---	---	---	---	---
6(-) 俵	2	1	0	1	1	0		---	右安	三振	---	---	---	---	---	---
PH- 捕 河西	2	1	0	0	0	0		---	---	---	左飛	---	中安	---	---	---
7(二) 三井	1	0	0	0	0	0		---	投儀	左飛	---	---	---	---	---	---
二 仁田	2	0	0	0	0	0		---	---	---	---	投ゴ	中飛	---	---	---
8 DH 西郷	0	0	0	1	0	1		---	---	四球	---	---	---	---	---	---
PH 鈴木	0	0	0	0	1	0		---	---	---	---	三振	---	---	---	---
PH 欠端	0	0	0	1	0	1		---	---	---	---	四球	---	---	---	---
PH 鹿子島	1	0	0	0	0	0		---	---	---	---	---	中飛	---	---	---
9(捕)- 村瀬	3	2	0	3	1	1		---	---	四球	---	中安	左安	三振	---	---

計 26 11 10 10 3 6

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	5	17	69	2	4	0	0	0
吉田	1	4	13	0	0	1	0	0
植木	1	3	11	0	1	0	0	0



1回表川島はレフトへ二塁打 俵は2回にセンター前ヒット 嶋田の後を受けた吉田。1回を0点に抑える 最終回は植木が打者3人で締めた

初 回、先頭打者の川島がレフト二塁打で出塁。末政の犠打と大畑の犠飛で手堅く一点を先制します。

二回にも先頭の俵がセンター前で出塁すると、2死二、三塁から2番・末政がライト前に2点適時打を放つなどこの回3点を追加します。4回には村瀬のヒット、塩田、田中の適時打で4点を奪います。終始優勢に試合を運び、5回にも村瀬、塩田のタイムリーで2点を奪い、計10点。

投げては公式戦初先発の嶋田がテンポ良いリズムで、投球を重ね、継投の吉田、植木も無安打と投手陣は7回を0点に抑え、終わってみれば強打のリベンジ99を散發2安打と見事な投球内容で二次予選進出を決めました。手塚監督は「チーム内でいい競争ができています」とコメントし、好投した先発・嶋田は「ストライク先行でテンポよく投げられた。2次予選でも出番があれば、よい流れを作れるピッチングをしたい」と力強く語った。



二回、末政はライトへ二点タイムリーヒット



塩田は初回のセンター前を含め2安打1打点



村瀬は5回に2本目となるヒットを放つ



田中は詰まりながらもレフト前2点タイムリーヒット

0 GOLD'S GYM.
× 10 JR東日本

捕手の村瀬はJR東日本の積極的な足攻めに対し一捕殺。簡単には進塁させない。

先発の種市。万全でないながらも5回を投げ抜いた

二次予選 初戦は昨年度 都市対抗準優勝チーム JR東日本に完敗

2014年5月24日 大田スタジアム

第85回都市対抗野球大会 東京二次予選 一回戦

GOLD'S GYM	000 000 00	0
JR東日本	503 000 11x	10

(大会規定により8回コールド)

【打者】	打	安	点	得	振	四	死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 右川島	3	1	0	0	1	0	三振	---	中前	---	---	---	---	---	---	二ゴ
PH 西郷	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
2(中) 末政	3	0	0	0	2	0	三振	---	三振	---	---	---	---	---	---	中飛
3(遊) 大畑	3	1	0	0	0	0	左飛	---	---	---	左飛	---	---	---	---	左安
4(三) 塩田	3	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	右飛
5(右) 川村	1	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---	中飛
右中 田中	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	四球
左 鹿子島	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	二ゴ
6(一) 俵	3	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
一 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	右飛
7 DH 三井	2	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---	右飛
8(捕) 村瀬	3	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	遊ゴ
9(二) 仁田	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	左飛
PH 鈴木	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	四球
二 上田	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	中飛
計	26	4	0	0	6	2										三振

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
種市	5	30	106	11	2	5	8	6
佐藤	0 1/3	4	19	0	0	3	0	0
米持	2 2/3	11	39	2	0	3	2	2

先 発の種市は、初回JR東日本打線につかまり、味方のエラーなどもあり5点を失います。三回にも加点されるものの、その後六回に交代するまでは0点を抑え、早い回での失点が悔やまれました。

打撃陣は、三回に仁田、川島のヒット、その後も大畑、村瀬らがヒットを放つも、JR東日本が送り出す投手陣に打線が繋がらず得点ならず。

七、八回は種市の後を受けた、佐藤、米持が登板しどうにか粘るも、八回コールドで敗退という結果に終わりました。



応援合戦が繰り広げられた



ゴールドジム大応援団



3回、仁田に続きセンター前ヒットを放つ川島



6回、大畑はアウトコース速球をとりえレフト前ヒット



今大会通じて初登板の佐藤



最後は米持が登板



3回、チーム初ヒットをセンター前に放つ仁田



5回、ライト前に巧く落とした村瀬

4×2 GOLD'S GYM. 鷺宮製作所



嶋田は緊迫した場面で登場も2四球で交代



八回1アウト満塁で登板の米持は、気持のこもった投球でピンチをしなく



最終回、二アウト一、二塁で登板の種市。満塁とするもレフトフライに打ち取り締める



先発の齋藤康は、130キロ台後半の速球と変化球をコーナーへ丁寧に投げ分け、好投を見せた。

劇的勝利!!

2014年5月26日 大田スタジアム

第二代表 一回戦

GOLD'S GYM	300	100	000	4
鷺宮製作所	200	000	000	2

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	5	0	0	0	2	0	三振	---	三ゴ	---	三振	---	投安	---	右飛
2(中) 末政	4	1	0	1	0	0	中安	---	二飛	---	遊ゴ	---	遊ゴ	---	---
3(遊) 大畑	4	2	0	1	2	0	右安	---	三振	---	右二	---	三振	---	---
4(三) 塩田	4	2	0	1	0	0	左飛	---	---	---	右二	---	遊ゴ	---	二安
5(右) 田中	2	0	0	1	0	1	四球	---	---	---	三鞭打	---	遊ゴ	---	右飛
6 DH 川村	4	2	4	0	1	0	中二	---	---	---	右安	---	三振	---	三飛
7(一) 俵	2	1	0	0	1	0	---	---	---	---	右安	---	三ゴ	---	---
PH 欠端	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
一 河西	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	遊ゴ
8(捕) 村瀬	4	1	0	0	0	0	---	---	---	---	二ゴ	---	右二	---	左飛
9(二) 仁田	4	1	0	0	0	0	---	---	---	---	遊ゴ	---	二ゴ	---	中安
計	35	10	4	4	6	1									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
齋藤 康	6 2/3	34	145	7	3	6	2	2
嶋田	0 1/3	3	15	0	0	2	0	0
米持	1 2/3	12	35	2	1	3	0	0
種市	0 1/3	1	2	0	0	0	0	0

先 攻のゴールドジムは一回、末政、大畑の連続ヒットと田中が四球を選び満塁のチャンス。ここで六番の川村は四球目、甘く入った高めストレートを強振。センター頭上をライナーで超える走者一掃のタイムリーツーベースで三点を先制します。その裏、先発の齋藤康はヒットと四球などで満塁とされ、ツーベースですぐに二点を返されます。

追加点が欲しいゴールドジムは四回、この回先頭の塩田がライトへツーベースを放ち、田中がバントで送りランナー三塁の場面で再び川村。初球140キロのストレートにバットを折られながらもレフト前タイムリーで一点を追加。

この後、五回に大畑の二塁打、七回にも仁田のセンター前ヒットから得点圏にランナーを進めるも得点にいたらず。

すると、八回齋藤からバトンを受けた嶋田が連続四球でランナー一、二塁の場面で米持に交代。米持は一アウト満塁のピンチも、気持ちの入った投球で後続をしのごます。九回、米持は連続安打を許したところで種市に交代。種市は後続三人を打ち取り勝利。全員野球で勝利し敗者復活二回戦へと駒を進めました。



初回、末政がチーム初ヒットとなるセンター前で出塁



大畑も末政に続きライト前にクリーンヒット



塩田はツーベースヒットを放つ



村瀬はツーベースで出塁。

3 × **5** **GOLD'S GYM.**
セガサミー



植木の後を受けた米持。急な登板にも関わらず
5回と3分の2を5安打、自責点2と好投

あわよくばの 試合展開 セガサミーを 上回る10安打を放つも 終盤粘るも力尽きる

2014年5月28日 大田スタジアム

第85回都市対抗野球大会 東京二次予選 第二代表 二回戦

GOLD'S GYM	000	000	201	3
セガサミー	000	201	20×	5

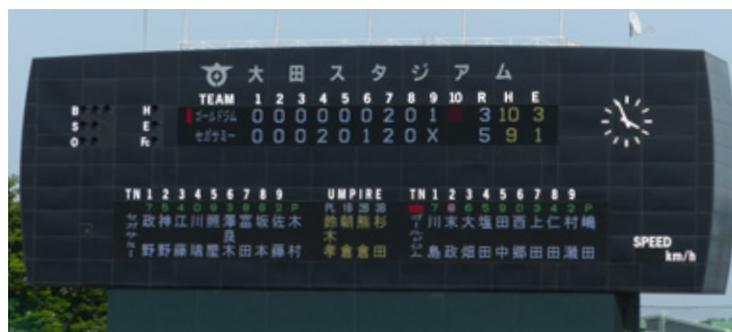
【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	5	4	2	0	0	0	中飛	---	二安	---	右安	---	左安	---	右二
2(中) 末政	5	1	0	0	1	0	二飛	---	左安	---	二飛	---	三振	---	三ゴ
3(遊) 大畑	3	0	0	0	0	1	四球	---	中飛	---	---	左飛	中飛	---	---
4(三) 塩田	4	0	0	0	0	0	右飛	---	---	遊飛	---	---	---	---	---
5(右) 田中	4	1	0	0	0	0	---	中安	---	中飛	---	遊ゴ	---	---	---
6 DH 川村	3	0	0	0	1	0	---	---	三ゴ	---	---	---	---	---	---
PH 西郷	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
7(一) 俵	3	0	0	0	0	0	---	---	左飛	---	---	---	---	---	---
PR 河西	0	0	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
一 上田	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(二) 三井	3	2	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
二 仁田	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(捕) 村瀬	3	2	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	36	10	2	2	3	1									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
植木	0 1/3	4	16	0	0	3	0	0
米持	5 2/3	23	97	5	3	3	3	2
嶋田	2	12	50	4	2	0	2	0

先 先発の植木は制球が定まらず、米持に早々に交代。好投を続けていた米持は四回にヒット、エラーで出塁を許すと、スクイズ、適時打で二点を先制され六回にも一点を失います。

投手陣の踏ん張りに打撃陣が奮起します。七回三井のヒット、村瀬、川島のタイムリーで二点を返します。しかしその裏、七回から登板した嶋田は、連続ヒットとエラーで二点を失います。

粘りを見せるゴールドジムは九回、村瀬がセンターの頭上を越える二塁打、川島の適時二塁打で一点を返すものの、後続が倒れ敗退。ヒット数では10本とセガサミーを上回り、後半流れが傾きかけたように見られただけに、中盤の守備のミスによる失点が悔やまれました。



末政は3回にレフト前ヒット



チームの初ヒットはこの日5番に入った田中。



5回センター前ヒットを放つ三井、七回にもライト前ヒット。この日2安打と振っていた。



好走塁を見せ、三塁を陥れる俵



キャッチャーの村瀬はこの日も1捕殺。



村瀬は捕手としてのリードとフットワークもさることながら、打者としても2安打の活躍



川島は右へ左へと5打数4安打の活躍。最終回にはライトヘッソーベースを放つ



この日先発のはサイドハンドの植木。慎重になり過ぎたか制球が定まらない



3番手で登板の嶋田。連日の登板



好守で投手陣を支える内野陣



0 × **11** 明治安田生命



第4代表をかけた一戦 選手は疲労を隠せず 都市対抗二次予選 幕を閉じる

投手陣は何度もランナーを背負う
苦しい場面が見られた

2014年5月30日 大田スタジアム

第85回都市対抗野球大会 東京二次予選 第四代表 一回戦

GOLD'S GYM	000 000	0
明治安田生命	003 134x	11

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	3	2	0	0	0	0	左安	---	投ゴ	---	---	二安打	---	---	---
2(中) 末政	2	0	0	0	1	0	投犠打	---	---	投ゴ	---	三振	---	---	---
3(遊) 大畑	3	0	0	0	1	0	三振	---	---	三ゴ	---	右飛	---	---	---
4(三) 塩田	3	0	0	0	1	0	右飛	---	---	二ゴ	---	三振	---	---	---
5(右) 田中	3	0	0	0	0	0	---	左飛	---	二ゴ	---	三ゴ	---	---	---
6 DH 川村	2	1	0	0	0	0	---	中前	---	---	左飛	---	---	---	---
7(一) 俵	2	0	0	0	1	0	---	投ゴ	---	---	---	三振	---	---	---
8(捕) 村瀬	1	0	0	0	0	1	---	---	---	四球	---	---	遊ゴ	---	---
9(二) 仁田	1	0	0	0	0	0	---	---	---	投ゴ	---	---	---	---	---
PH 三井	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	二ゴ	---
計	21	3	0	0	4	1						盗塁:川島			

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
齋藤康	4	21	75	5	2	4	4	4
種市	1 1/3	9	47	4	1	5	7	7
嶋田	0 2/3	3	7	1	0	0	0	0

先発の先攻のゴールドジム(GG)は、先頭の川島が三遊間へで出塁すると、末政が送り、早くも得点圏にランナーを進めますが、後続が倒れ得点ならず。中3日での登板となる先発の齋藤は、初回四球などで1、3塁とするも、力のあるストレイトで切り抜けます。しかし、3回、相手打線にセフティーバントから、四球、単打、二塁打、さらにスクイズなどで崩され3点を失います。四回にも四球で出したランナーをタイムリーでかえされ、1点を失う追う展開となります。

1点を返したいGGは2回に川村の中前安打、6回にも川島の内野安打を放つも、打線が沈黙。

5回以降は齋藤から交代した種市、嶋田もヒットを許し、連戦による疲れも見られ、残念ながら七回コールドゲームにて敗退となりました。

今大会期間中、応援にお越し頂きました皆様、本当にありがとうございました。



川島はリードオフマンとして2安打の活躍



二番手で登板した種市



2回川村はセンター前へクリーンヒット



齋藤からバントを受けた種市も、万全でないながらも我慢の投球



3番手の嶋田、今大会はフル回転。今後に期待される。



キャプテンの仁田は悔しさを見せた。来年に期待したい。

3 GOLD'S GYM
×15 群馬ダイヤモンド
ペガサス



元オリックス カラバイヨ選手にバックスクリーンへ特大の本塁打を打たれる



5番の俵は、打った瞬間それとわかる豪快な2点本塁打。打球の行方を追う俵

独立リーグチームとの初対決 圧倒的なパワーの差を見せつけられる

2014年4月16日 江戸川区球場

第85回都市対抗野球大会 東京一次予選 一回戦

群馬ダイヤモンドペガサス	020	102	460	15
GOLD'S GYM	020	100	000	3

【打者】 打 安 点 得 振 四死 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1(左) 川島	4	1	0	0	1	0	中飛	---	遊ゴ	---	遊安	---	三振	---
PH 手塚	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	遊ゴ
2(二) 三井	3	0	0	0	1	0	ニゴ	---	三飛	---	三振	---	---	---
二 仁田	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	遊ゴ
3(遊) 大畑	4	0	0	0	1	0	ニゴ	---	右飛	---	遊ゴ	---	三振	---
4(三) 塩田	2	2	0	2	0	2	---	中安	---	四球	四球	---	---	中安
5(一) 俵	2	1	2	1	0	0	---	本塁打	---	三振	右飛	---	---	---
一 河西	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	三振
6(右) 川村	4	1	1	0	1	0	---	三ゴ	---	左安	---	三ゴ	---	三振
7(中) 末政	3	0	0	0	0	0	---	ニゴ	---	遊ゴ	---	右飛	---	---
PH 欠端	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	三振
8 DH 西郷	1	0	0	0	0	0	---	ニゴ	---	---	---	---	---	---
PH 鈴木	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	右飛	---	---	---
PH 田中	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	二飛
9(捕) 村瀬	3	1	0	0	0	1	---	---	---	死球	---	右安	---	三ゴ
計	32	6	3	3	6	4								

【投手】 回数 打者 球数 安打 三振 四死球 失点 自責点

種市	6	30	114	10	3	3	3	3
齋藤	0 1/3	5	18	3	1	1	2	3
植木	0 0/3	2	8	0	0	2	0	2
嶋田	0 2/3	3	7	2	0	1	0	2
米持	0 1/3	4	13	1	0	1	4	3
吉田	0 2/3	3	13	1	0	1	1	1
佐藤	1	3	9	1	0	0	0	0

天 気にも恵まれ、平日の午前中にも関わらず200名近くの方にご来場頂き、試合前から球場全体は熱気に包まれました。

2回表、先発の種市は、元オリックス4番のカラバイヨ選手にレフトオーバーの二塁打を許し、四球、エラー、ヒットでこの回2点を先制を許します。

その裏、GGはこの日4番の塩田が、外角の変化球をセンター前にクリーンヒット。すると続く俵は打った瞬間それとわかる右翼席に飛び込む2点本塁打を放ち同点に追いつく。4回裏、この回先頭の塩田は四球を選び、前の打席で本塁打を放った俵が送りバントでランナー2塁。

ここで川村はレフト線へ痛烈な二塁打を放ち1点を返します。(G3-3群)

6回表に回2点を許すと、ここまで粘り強く投げ続けた種市から齋藤に交代。

ここから以降9回まで、ピッチャーは植木、島田、米持、吉田、佐藤を投入するものの、四球、エラーをからめ長短打を浴び、7、8、9回 計3回で9安打10失点。

一方の打撃陣も、得点にむすびつく攻撃ができず、敗退となりました。

終わってみればバックスクリーンへの2本塁打を含め18安打15失点という猛攻にあいその力の差を見せつけられる結果となりました。

しかし、今回は新戦力も含め随所に好プレーも見られ、これから始まる今シーズンは個々が修正点を見だし、チームのさらなる躍進に期待します。



2回得点の口火となるセンター前ヒットを放つ4番の塩田



4回、レフト線へ痛烈なタイムリー二塁打を放った川村



村瀬は、その強肩で2捕殺、打撃でも5回にライト前ヒット



東京ガールズの皆さんによる本場のチアパフォーマンス

2 GOLD'S GYM.
×2
読売ジャイアンツ



大畑のタイムリー三塁打で先制! 好投の投手陣 守備陣も好守で応える!!

2014年7月15日 読売ジャイアンツ球場

2014プロアマ交流戦

GOLD'S GYM	200	000	000	2
読売ジャイアンツ2軍	000	002	000	2

※規定にて9回で終了

【打者】	打	安	点	得	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	4	1	0	1	投安	---	三ゴ	---	遊ゴ	---	---	三振	---
2(中) 末政	3	0	0	0	投ゴ	---	三失	---	四球	---	---	三振	---
3(三) 大畑	4	1	1	1	中三	---	ニゴ	---	ニゴ	---	---	---	---
4(遊) 塩田	4	1	0	0	ニゴ	---	三ゴ	---	---	---	左前	---	三振
5(右) 田中	3	1	0	0	三振	---	---	---	投安	---	投機打	---	右邪飛
H 西郷	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
6DH 川村	3	1	0	0	---	中二	---	左飛	---	三振	---	---	---
7(-) 俵	4	1	0	0	---	三ゴ	---	中飛	---	遊ゴ	---	---	左二
8(捕) 村瀬	3	0	0	0	---	四球	---	ニゴ	---	---	三振	---	右邪飛
9(二) 仁田	3	0	0	0	---	三ゴ	---	---	三振	---	三邪飛	---	---
計	32	6	2	2									盗塁 末政、田中

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	自責点
嶋田	6	25	93	5	1	2	1
佐藤	1 0/3	4	14	1	0	0	0
米持	2 0/3	8	26	3	2	0	0

当日は、天気にも恵まれ好走守ともに非常に見応えのある試合内容となりました。

初回、先頭の川島が足を生かし内野安打で出塁すると、3番の大畑は甘く入った高めのボールを強振、前進守備のセンター頭上を破る三塁打で1点を先制、さらに、相手のボークもありこの回計2点を先制します。

投手陣は先発の嶋田が味方の好守にも助けられ緩急を交えテンポの良い投球で6回を自責点1の2失点。継投した佐藤、米持も好投し相手の攻撃をしのぎました。さらにセンター末政の好守、ライト田中が強肩で三塁を狙う走者を捕殺。最終回には得点圏にランナーをおき大畑が三遊間の強い当たりをダイビングキャッチと守備でも再三の好プレーが見られました。

打撃陣はヒットがでるものの、打線が繋がらず、結局2対2の同点で試合終了となりました。

当日、球場にお越しいただいた皆様、またこのような機会を設けて頂きました関係者の皆様、誠にありがとうございました。



2回 川村は右中間を破るツーベース



俵は最終回 レフトフェンス直撃のツーベース



4回 5番の田中は投手強襲のヒット



6回塩田はレフト線へシングルヒット



5回裏 2アウトランナー3塁でセンターの末政は打球を好捕



マウンド上に乗るジャイアンツバッテリーと阿波野コーチ



8回 ランナー1塁の場面。ライト前で3塁を狙うランナーを田中は好送球で刺した



3番手の米持はピンチを迎えるも2回を0点、2三振の好投。

2 GOLD'S GYM
×2 読売ジャイアンツ



先発の嶋田は7回と3分の2を2失点と好投。



種市は1回と3分の1を0点で締めた。



川村が先制点となる左中間最深部へのフェンス直撃タイムリーツーベース。

川村 フェンス直撃の先制打 投手陣も嶋田、種市が好投

2014年9月4日 読売ジャイアンツ野球場

2014年 プロ・アマ交流戦

GOLD'S GYM	000 020 000	2
読売ジャイアンツ	001 000 010	2

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1(左) 川島	3	1	0	0	0	1	遊飛	---	---	三ゴ	四球	---	左前	---	---	---
2(二) 三井	4	2	0	0	0	0	左邪飛	---	---	左前	左前	---	ニゴ	---	---	---
二 仁田	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
3(遊) 大畑	4	1	0	0	0	0	三飛	---	---	中飛	ニゴ	---	右前	---	---	---
4 DH 米倉	4	0	0	0	1	0	---	---	捕邪飛	---	一飛	---	三振	---	左飛	---
5(一) 俵	4	0	0	1	0	0	---	---	ニゴ	---	---	ニゴ	中飛	---	ニゴ	---
6(右) 鹿子島	2	1	0	1	0	0	---	---	捕ゴ	---	---	左二	---	---	---	---
右 田中	2	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	ニゴ	---	遊ゴ	---
7(三) 川村	4	1	2	0	0	0	---	---	---	三ゴ	---	左中二	三ゴ	---	---	一邪飛
8(中) 末政	4	0	0	0	0	0	---	---	---	三ゴ	---	一飛	---	三ゴ	---	遊ゴ
9(捕) 河西	3	0	0	0	0	0	---	---	---	左飛	---	中飛	---	右飛	---	---
捕 岡芹	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	三ゴ
計	35	6	2	2	1	1										

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	7 2/3	31	108	7	3	2	2	2
種市	1 1/3	5	12	1	1	0	0	0

対0で迎えた3回、ゴールドジム先発の島田は、2アウトから9番北之園選手に投じた4球目を右翼席に運ばれるソロ本塁打を浴び、先制点を許します。しかしその後は4回までヒット2本に抑える好投を見せます。すると5回、GG打線が嶋田の好投に代えます。この回先頭の俵が相手のエラーから出塁すると、鹿子島がアウトコースのストレートを捉えレフト線へ痛烈な二塁打で得点機を演出。するとランナーを2人おき、7番の川村がレフト最深部へフェンス直撃のあわやホームランかというタイムリーツーベースで2点を返します。嶋田は8回にも4番 加治前選手のタイムリーで1点を失いますが、結局7回と3分の2をヒット7本を許すものの、2点に抑える好投。その後は8回途中から種市-岡芹のバッテリーが0点に締め、結局2対2の同点で9回試合終了となり、前回に続き接戦となりました。当日応援にお越しいただきました皆様、また、このような機会を頂きました関係者の皆様、誠にありがとうございました。



先発はキューバ出身のメンドーサ投手



北之園選手に本塁打を浴びる



得点のきっかけを作った鹿子島のツーベース



三井は4回と5回にヒットを放ち2安打。



大畑は8回に1、2塁間を破るクリーンヒット。



先発でマスクを被った河西は相手のスチールを阻止した。



川村は7回にレフト前で出塁。



岡芹は怪我から1年4ヶ月振りの出場。

16×5 GOLD'S GYM.

東京弥生クラブ



二回、川村はレフトへ二塁打
三回にはセンターへ満塁本塁打の活躍



三回、大畑はライトフェンス
直撃の走者一掃のツーベース

先制点を許すも打線が爆発!! 初戦をコールド発進

2014年5月10日 府中市民球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 東京予選 一回戦

東京弥生クラブ	104 00	5
GOLD'S GYM	0012 4x	16

(大会規定により5回コールドゲーム)

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8
1(二) 三井	1	0	0	2	1	2	三振	---	四球	死球	---	---	---	---
二 仁田	1	1	1	1	0	0	---	---	---	左二	---	---	---	---
2(遊) 鹿子島	1	0	0	0	0	0	三ゴ	---	---	---	---	---	---	---
遊 大畑	2	2	4	3	0	1	---	---	死球	右二	右安	---	---	---
3(中) 鈴木	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---
P.H三 塩田	2	1	2	2	0	1	---	---	四球	二失	右二	---	---	---
4(左) 西郷	1	0	0	0	0	0	左飛	---	---	---	---	---	---	---
左右 末政	1	1	2	2	0	2	---	---	四球	右三	四球	---	---	---
5(右) 川村	2	2	5	1	0	0	---	---	左二	中本	右儀飛	---	---	---
左 川島	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	三振	---	---	---
6(一) 俵	4	0	0	0	1	0	---	---	二飛	遊失	中飛	三振	---	---
7(左) 田中	2	2	0	2	0	1	---	---	四球	二安	---	左二	---	---
8(捕) 河西	3	0	0	1	0	0	---	---	遊飛	三ゴ	---	三飛	---	---
9 DH 欠端	3	2	1	2	0	0	---	---	中飛	遊安	---	左安	---	---

計 25 12 15 10 3 7

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
植木	3 1/3	12	49	4	3	2	4	4
吉田	1	4	29	4	0	1	1	1
齋藤 圭	1	4	17	0	1	1	0	0

ゴールドジム(以下GG)の先発は公式戦初先発となる植木。立ち上がり、ニアアウトから三番、四番に続けて二塁打を許し、一点を先制されます。植木は連続ヒットでさらに一点を失ったところで、吉田へバトンタッチ。その吉田も二塁打や犠飛などでこの回、計四点を奪われます。一方のゴールドジム打線は二回まで、ヒットがでるものの得点に結びつきません。

三回三井から始まる打線は、連続四死球による押し出しで一点を返すと、ここから猛攻にでます。

ノーアウト満塁で五番の川村が、甘く入った変化球をセンターバックスクリーン左に飛び込む特大の満塁ホームラン。

すると途中出場の大畑がライトフェンス直撃の走者一掃となる二塁打、同じく途中出場の末政は右中間を破る三塁打など敵失も絡め、この回一挙12得点と大量得点で一挙リードします。(G12-Y5)

四回、二塁打で出塁した田中を欠端が三遊間を破るタイムリーで一点追加、さらに仁田、大畑、塩田が続き四点を奪います。(G16-Y5)

吉田は四回も無難に抑え、五回先頭打者をショートエラーで出塁させたところで齋藤圭祐に交代。

齋藤はヒットを一本許すものの0点に抑え、五回コールドゲームで勝利。

二回戦に駒を進めました。



二番手の吉田はランナーを出しながらも無失点に抑えた



最終回は齋藤圭祐が締めた



四回 レフト戦へツーベースの仁田



一回三番の鈴木はヒットで出塁



三回欠端はセンター前にヒット、四回にもレフト前へタイムリー



この日一試合を通してマスクを被った河西



三回、末政は右中間を破るスリーベース



四回、田中はレフトへツーベースを放つ



四回 塩田は右中間へツーベース



この日リリースの種市は、威力のあるボールで出塁を許さなかった



7 GOLD'S GYM.
×0 鉄腕硬式野球部

先発の齋藤は被安打1、奪三振4の素晴らしい好投

初戦の勢いそのままに強豪相手にコールド勝ち

2014年5月12日 府中市民球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 東京予選 二回戦

GOLD'S GYM	001 600 0	7
エスプライド 鉄腕硬式野球部	000 000 0	0

(大会規定により7回コールドゲーム)

【打者】	打	安	点	得	振	四	死	1	2	3	4	5	6	7	8
1(左) 川島	3	2	2	2	1	1	四球	---	中三	左二	---	---	---	三振	---
2(中) 末政	4	2	2	1	0	2	中安	---	三振	左安	---	---	---	三振	---
3(遊) 大畑	4	2	1	1	0	0	投ゴ	---	右安	右安	---	---	---	---	---
4(三) 塩田	4	1	1	0	0	0	左飛	---	投ゴ	中安	---	---	---	---	遊ゴ
5(右) 川村	3	1	0	1	1	1	三振	---	---	左安	左飛	---	---	---	---
右 田中	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	中飛
6(一) 俵	2	1	0	0	0	1	---	遊安	---	左飛	---	---	---	---	四球
一 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7 DH 三井	3	1	0	1	1	0	---	---	三振	---	左安	---	---	---	---
8(捕) 村瀬	2	1	0	1	0	1	---	---	中飛	---	死球	---	---	---	遊ゴ
9(二) 仁田	3	0	0	0	1	0	---	---	三振	---	左安	---	---	---	遊飛

計 29 11 6 7 4 6

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
齋藤 康	5 2/3	23	96	1	4	5	0	0
種市	1 1/3	4	12	0	2	0	0	0

ゴールドジム(GG)先発の齋藤は角度のあるストレートと変化球のコンビネーションで緩急を交え、的を絞らせません。

初回は0点に抑えると、二回は自らの四球などで、ツーアウト一、二塁のピンチを迎えるも、アウトコースに威力のあるストレートを投じ三振に切つてとります。結局、ランナーをだすものの、五回と三分の二を一安打無失点に抑える好投を見せました。投手陣の好投に打撃陣が応えました。

三回、一番の川島が左中間へ三塁打を放つと、大畑はセカンド強襲のヒットを放ち川島は先制のホームを踏みます。(G1-OT)

四回には、川村、三井のヒット、村瀬が四球を選びニアアウト満塁から、川島がレフト前に運び、一点。さらにレフトが処理を誤る間に、もう二人還り二点を追加。(G4-OT)

末政のレフト前でランナーが二人還り(G6-OT)、大畑もヒットで続きなおもランナー一、三塁のチャンス。ここで塩田がセンター前にタイムリーで一点。センターが後逸する間にもう一人還りこの回計六点を奪います。(G7-OT)

六回、ニアアウトから齋藤康の後を受けた種市は、打者四人に対し2三振と盤石の投手リレーで大会規定により7回コールドゲームで二回戦を突破しました。

今回は投手陣の好投に加え、打撃陣も状況に応じた打撃で加点し、次の塁を狙う選手達の視線の先には勝利への強い想いが感じられ、投打が噛み合い準決勝へと駒を進めました。



三回川島が左中間へ三塁打、四回にもレフトへタイムリーを放ち二打点の活躍



四回 当たっている川村はこの日もレフト前ヒット



四回 レフト前にヒットを放ち好機を作った三井



四回 末政はレフトへ二点タイムリーヒットの活躍

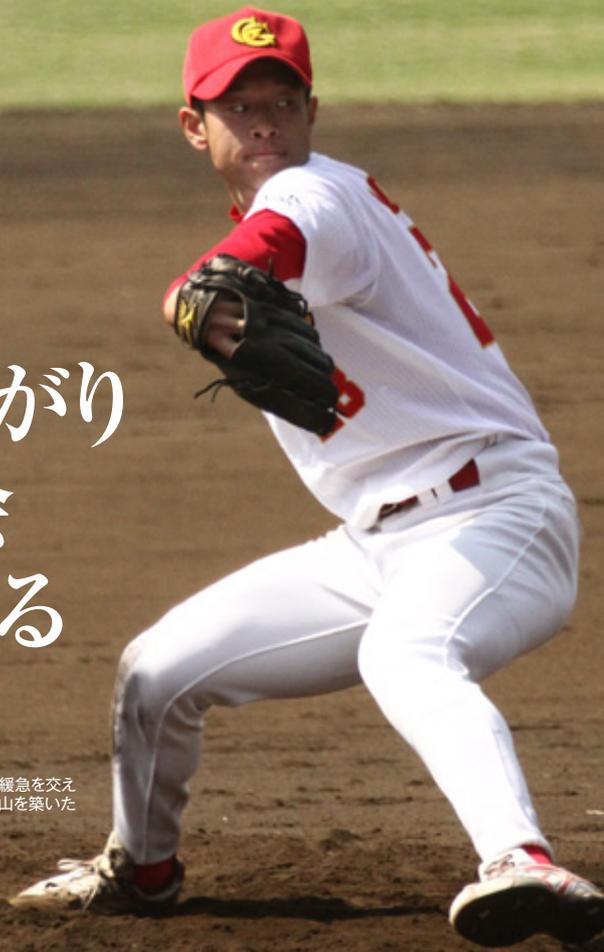


守備陣も投手陣の好投に迎え、好守でもり立てた

4 × 2 GOLD'S GYM.

西多摩倶楽部

米持好投!! 打線もつながり 南関東大会 進出を決める



米持、村瀬の八戸大バッテリーが試合を作った。

先発の米持は緩急を交え
ゴロの山を築いた

2014年5月19日 府中市民球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 東京予選 準決勝

西多摩倶楽部	100	000	100	2
GOLD'S GYM	101	200	00x	4

[打者] 打安点得振四死 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1(左)	川島	5	2	0	1	1	0	左安	三振	一	遊飛	一	直	一	中前	一
2(中)	末政	3	1	0	0	0	2	右安	一	左飛	四球	一	中飛	一	四球	一
3(遊)	大畑	5	1	1	1	2	0	一ゴ	一	右前	三振	一	二ゴ	一	三振	一
4(三)	塩田	3	0	1	0	0	0	一ゴ	一	中飛	遊ゴ	一	一	一	遊飛	一
5(右)	川村	3	1	0	0	0	0	左前	一	遊ゴ	一	左飛	一	一	一	一
右	田中	1	1	0	0	0	0	一	一	一	一	一	一	一	中前	一
6(一)	俵	4	2	0	1	0	0	三飛	一	一	中安	右前	一	一	左飛	一
一	河西	0	0	0	0	0	0	一	一	一	一	一	一	一	一	一
7 DH	三井	4	2	0	1	0	0	一	一	二ゴ	一	三安	中前	一	投ゴ	一
8(捕)	村瀬	3	0	0	0	0	1	一	一	四球	一	三失	中飛	一	一	遊ゴ
9(二)	仁田	3	0	0	0	2	0	一	一	三振	一	一	失	三振	一	一
PH	西郷	1	0	0	0	0	0	一	一	一	一	一	一	一	一	二ゴ
二	上田	0	0	0	0	0	0	一	一	一	一	一	一	一	一	一

計 37 10 2 4 5 3 盗塁: 村瀬、大畑、仁田

[投手] 回数 打者 球数 安打 三振 四死球 失点 自責点

米持	6	25	86	5	2	2	1	2
嶋田	2	6	28	2	2	0	1	0
種市	1	5	23	0	0	2	0	0

ゴールドジム(以下GG)は初回、川島、末政の連打と川島の好走塁もあり一気に1,3塁とチャンスを作ります。すると、三番大畑の一塁ゴロのゲッツー崩れの間に、川島がホームを踏み一点を先制します。(G1-0N)
三回にも大畑がヒット、盗塁から相手のミスもあり、塩田の犠牲フライで一点を追加。(G2-0N)

四回、俵のヒット、三井のバントヒットで連続出塁すると、村瀬も三塁へバント。これが相手の送球ミスを誘い、一点。仁田の一塁へバントも相手の送球ミスを誘い一点とこの回二点を追加します。(G4-0N)

投げては先発米持が、初回到三連打から先制を許すものの、二回以降を締め七回途中で降板するまで五安打を許しながらも、十のゴロで自責点二に抑える好投。以降は、嶋田、九回には種市が締め、決勝戦へと駒を進めました。

また、この時点で三年振りとなる南関東大会への出場権を手に入れました。



初回先頭の川島がレフト前ヒットで出塁すると相手守備の隙をつき好走塁。



末政もライト前ヒットで川島に続く



三回大畑はライト前ヒットで出塁



四回俵はタイミングをはずされながらもしぶとくセンター前ヒット、五回にもセンター前で2安打



三井はバントで相手守備陣をかき乱し出塁し、得点に結びつけた。五回にもセンター前ヒットで出塁

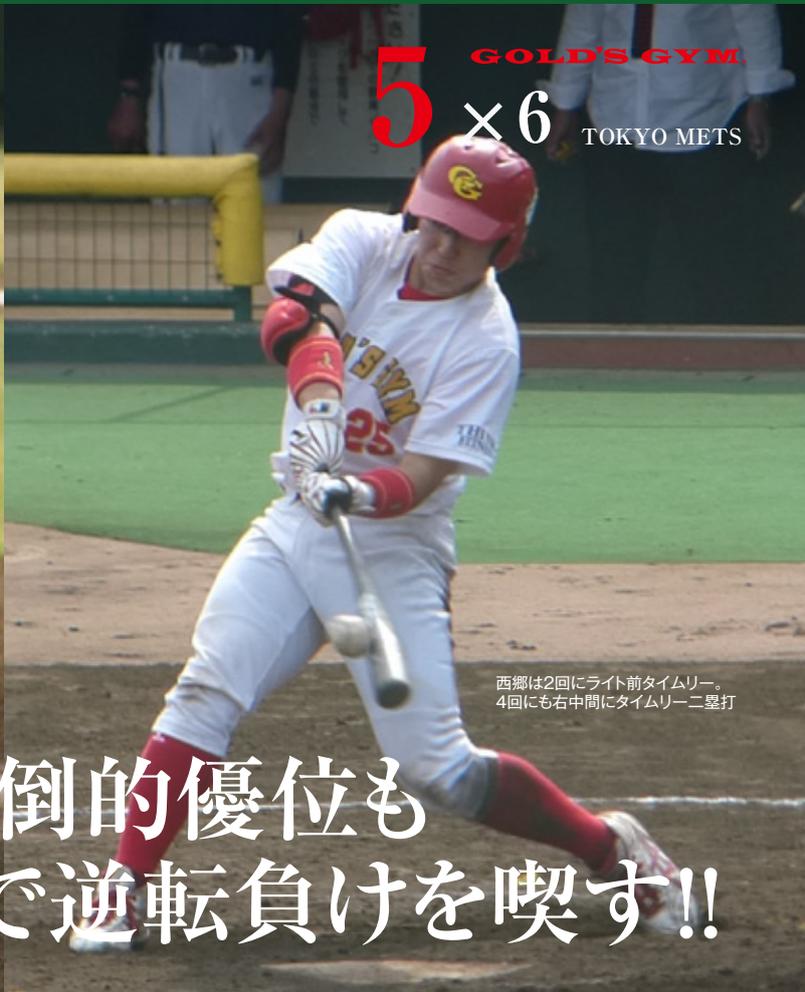
5 × **6** **TOKYO METS**



初回鹿子島はレフト前で相手の守備の際をつき一気に二塁を陥れる



本大会、惜しくも準優勝となるが、この無念を来年の大会にぶつけてほしい



西郷は2回にライト前タイムリー。4回にも右中間にタイムリー二塁打

序盤 圧倒的優位も 土壇場で逆転負けを喫す!!

2014年5月19日 府中市民球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 東京予選 決勝戦

GOLD'S GYM	111	200	000	0	5
TOKYO METS	000	012	020	1x	6

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1(左) 鹿子島	2	1	0	1	0	0										
左 川島	3	0	0	0	1	0										
2(中) 鈴木	1	0	0	0	0	0										
中 末政	3	1	0	0	0	0										
3(遊) 大畑	4	1	2	0	0	0										
4(三) 塩田	5	1	0	0	1	0										
5(右) 田中	4	2	0	2	0	0										
6(-) 俵	2	0	0	0	0	0										
- 河西	2	0	0	0	1	0										
7 DH 西郷	4	2	2	1	0	0										
8(捕) 村瀬	3	2	1	0	0	0										
PH 川村	1	0	0	0	0	0										
8(二) 三井	1	0	0	1	0	1										
二 仁田	1	0	0	0	0	0										
二 上田	0	0	0	0	0	0										

計 36 10 5 5 3 1 盗塁: 田中、鹿子島

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
齋藤	5 2/3	20	73	5	2	2	2	3
嶋田	1 2/3	10	34	2	1	2	2	2
種市	2	4	20	2	1	1	1	1



田中は左前に強烈なヒット。この日2安打



九回末政はショートの上を越えるライナーでツーベース



村瀬もセンターへタイムリーヒット。



先発の齋藤は5回と3分の2を5安打2失点のピッチング

初回、一番で出場の鹿子島がレフト前へクリーンヒットで、守備の不意をつき一気に二塁を陥れます。三塁へ進塁後、大畑の犠牲フライで先制します。(G1-0M) 二回、田中の強烈なレフト前と盗塁、西郷のライト前で一点を追加。(G2-0M) 三回には、死球の三井を大畑が犠牲フライで選し一点。(G3-0M) 四回にも田中のレフト前、西郷の右中間二塁打で一点。(G4-0M)。さらに村瀬のセンター前で一点を追加(G5-0M)

しかし、この後は良い当たりが正面につき、ヒットはであるものの、得点に結びつかず、さらに相手の好守にも得点を阻まれます。先発の齋藤康毅は、二回守備陣の乱れから出塁したランナーを、牽制刺でしとめピンチを自らしのぎます。

三回、四回もランナーをだすものの要所を締め、相手に点を与えません。しかし、五回に二塁打、ヒットで一点を許すと、六回にも三塁打、続く打者のショートゴロの間に一点を許します。それでも、マウンドを嶋田に譲るまで

先発としての役割を果たした。二アウトランナー一塁の場面で登板した嶋田は、四番にレフトヘタイムリー二塁打を許し一点。八回には内野安打で出塁を許すと、三塁への強襲ヒットで一点、さらに連続四球で小気味好い投球も見れず降板となります。代わった種市は満塁のピンチを犠牲の一点に抑えるも、十回タイブレークでまさかのヒットを許し、万事休す。

南関東大会への切符を手に入れたものの、勝利まで手の届く位置に居ただけに選手達には非常に悔やまれる試合となりました。

GOLD'S GYM.
2 × **1** 千葉熱血MAKING



あわや抜けようかという
 当たりを好捕した末政



先発の嶋田は
 6回を3安打と好投した。

40度近い炎天下 投手陣が奮投 バックも好守で応え 初戦突破!!

2014年8月2日大宮県営野球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 南関東大会 1回戦

千葉熱血MAKING	100 000 000	1
GOLD'S GYM	100 010 00×	2

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	4	1	0	1	0	0	左安	---	投ゴ	---	---	---	---	---	---
2(中) 末政	4	3	0	0	1	0	投安	---	右安	---	三振	---	---	左安	---
3(遊) 大畑	3	0	0	0	0	0	三失	---	ニゴ	---	---	---	遊ゴ	---	---
4(三) 塩田	3	0	1	0	2	0	ニゴ	---	---	三振	---	---	---	---	---
5(右) 川村	2	0	0	1	0	0	中飛	---	---	三振	---	---	---	---	---
PH 鹿子島	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	左飛	---	---
右 田中	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6 DH 米倉	3	0	0	0	0	0	---	二飛	---	中飛	---	---	---	二飛	---
7(-) 俵	2	2	0	1	0	1	---	中安	---	---	---	---	---	四球	---
8(捕) 村瀬	1	0	0	0	0	0	---	---	---	三振	---	---	遊ゴ	---	---
9(二) 三井	3	1	1	0	1	0	---	遊飛	---	右安	---	---	---	---	三振
二 仁田	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	26	7	2	2	5	1									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	6 0/3	25	103	3	4	4	1	1
米持	3	11	24	1	1	2	0	0

一回、守備の乱れもあり先制を許したゴールドジムはその裏、相手のエラーなどからすぐに1点を返します。

その後は4回まで互いに一歩も引かない展開。そして試合が動いたのは5回。GGはヒットで出塁した俵を三塁に置き、三井がフルカウントからの7球目、インコースの変化球をライト前に痛烈なタイムリーヒット。一点を追加しこれが貴重な決勝点となります。

7回表、ここまで好投を見せたGG先発の嶋田は先頭打者に四球を与えたところで、脚がつるアクシデントから米持に交代。

その米持は緊急登板となり準備がままならないながらも守備陣の好守にも助けられ一点を守りきり見事勝利。2回戦へと駒を進めました。

暑い中応援にお越しいただきました皆様、誠にありがとうございました。



投手陣の好投にバックも好プレーで応えた

緊急登板となった米持も0点で締めた。



初回先頭の川島はレフト前ヒットで出塁。



続く末政のバントはヒットとなる。末政はこの日3安打の活躍



決勝点となる2点目をたたき出したのは5回三井のライト前



7番の俵はこの日2安打。得点に絡む活躍を見せた。

4 × **5** GOLD'S GYM 山梨球友クラブ

序盤 優位の試合展開 中盤の失点が響き 全日本出場の 夢が途絶える



6回、ツーアウトから川島のライト前で仁田は二塁から一気に本塁を狙うも相手好返球に憤死。

試合後 悔しさを隠せない選手達

2014年8月3日岩槻市川通公園野球場

2014年度 全日本クラブ野球選手権大会 南関東大会 2回戦

山梨球友クラブ	010 003 000 1	5
GOLD'S GYM	310 000 000 0	4

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1(左) 川島	5	1	0	1	0	0	遊失	三飛	---	中飛	---	右前	---	---	左飛	---
2(中) 末政	5	0	0	1	1	0	三失	遊ゴ	---	---	---	捕邪飛	---	---	三振	---
3(遊) 大畑	4	0	1	0	0	0	中犠飛	左飛	---	---	---	---	---	---	---	---
4(三) 塩田	5	2	0	1	0	0	左前	---	---	---	---	---	---	---	---	---
5(右) 田中	4	1	1	0	0	0	右前	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 岡芹	0	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---	四球
PR 鈴木	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6DH 米倉	5	2	1	0	0	0	遊ゴ	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7(一) 俵	4	0	0	0	1	0	二ゴ	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(二) 仁田	2	0	0	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
二 三井	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(捕) 村瀬	2	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
捕 河西	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	38	7	3	4	2	2										

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
米持	2	10	36	0	0	4	1	1
岩田	4	18	61	7	5	0	3	3
吉田	3 0/3	9	36	2	1	0	0	0
種市	1	5	15	2	2	0	1	0



先頭の川島はエラーで出塁し先制のホームを踏む、6回にもヒット



塩田はアウトコースをレフト前に運ぶこの日2安打



米倉は怪我から復帰後の初ヒットが左中間二塁打。この日2安打



炎天下の中、マスクを被った村瀬は6回にレフト前を放つ



先発の米持は連日の登板。



好守を見せる川島

初回、相手のエラーなどで1.3塁の場面。大畑がきっちりとセンターへ犠牲フライを放ち一点を先制。さらに塩田のレフト前で1.2塁とし、田中の右前タイムリーで2点目。なおも1.3塁でこの日怪我から復帰し6番DHで出場の米倉のセカンドゴロの間にランナーが帰り早々と3点を追加します。

2回裏、先頭の仁田が四球で出塁すると相手の守備の乱れもあり、ツーアウト三塁と得点のチャンス。ここで大畑がショートへ放った打球を相手がエラー。その間に仁田がホームを踏み4点目。

中盤にかけてもゴールドジムが試合を優位に進めるかに見えました。

しかし6回、好投の先発米持からバトンを受け3回から好投を見せていた岩田がつかまります。ピッチャーゴロを自らのエラーとヒットなどで3点を奪われます。

同点で迎えた10回。岩田から代わった吉田は先頭打者にヒットを許し、ここで種市がマウンドに上がります。4番を三振。5番を迎ええ打撃妨害などで1.3塁のピンチ。6番を三振にきるも、7番に投じた2球目をレフト前に運ばれ逆転を許します。その裏、逆転に一縷の望みをかけ、ツーアウトから代打岡芹が四球で出塁するも後続が続かず、連日40度近い炎天下のもと、選手達は全力を尽くしましたが無念の敗退となりました。

7 GOLD'S GYM.
×3 鉄腕硬式野球部



4番の米倉は5打数4安打の猛打賞。その打球の速さに加え、広角に打ち分ける



末政はチーム初ヒットとなるツーベースを皮切りに3安打の活躍

初戦 強豪相手に16安打と猛打爆発!! 4番米倉は4安打の活躍!!

2014年9月26日 府中市民球場

2014年度 東京都クラブ秋季大会 一回戦

GOLD'S GYM	201 120 001	7
エスブライド 鉄腕硬式野球部	010 000 200	3

【打者】	打	安	点	得	振	四	死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	5	1	1	0	0	0	0	二ゴ	遊ゴ	---	左安	右飛	---	---	遊ゴ	---
2(中) 末政	5	3	0	1	1	0	0	右二	中飛	---	投安	---	---	---	三振	---
3(遊) 大畑	4	2	1	2	0	1	0	右二	---	右安	遊飛	---	---	---	二ゴ	---
4 DH 米倉	5	4	1	0	0	0	0	中二	---	左安	---	左安	右安	---	---	右飛
5(三) 塩田	4	1	1	1	1	0	0	二失	---	左犠飛	---	左安	遊ゴ	---	---	三振
6(右) 川村	3	0	0	1	0	0	0	三飛	---	---	---	---	---	---	---	---
右 田中	2	1	0	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	遊飛	---
7(一) 俵	4	1	1	0	0	1	0	四球	---	---	右飛	---	---	---	---	二ゴ
8(二) 三井	3	2	2	1	0	0	0	二ゴ	---	---	左二	中安	---	---	---	---
二 仁田	2	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	左安
9(捕) 河西	3	0	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
捕 岡芹	1	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	41	16	7	7	2	3										

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	7	28	100	5	5	2	3	2
岩田	1	3	8	0	1	0	0	0
種市	1	6	26	2	2	1	0	0

三 ゴールドジムは初回、末政、大畑、米倉の連打で先制すると、3回には塩田の犠牲フライで1点、4回にも川島のレフト前タイムリーと着実に追加点します。5回にも米倉、塩田のヒットなどで満塁とすると、三井がセンター前へ2点タイムリー。9回にも田中の右中間二塁打、俵の右中間適時三塁打で1点追加で計7点。

先発の嶋田は2回に1点、7回にヒットと味方のエラーなども絡み2失点を喫すも安定した投球内容で7回をヒット5本、3失点の好投。8回からは岩田、9回は種市の継投で勝利しました。終わってみれば、16安打の猛攻を見せるも、7得点とやや課題が残る試合内容も次戦に向けて好発進となりました。応援におこし頂きました皆様、ありがとうございました。



先発嶋田は7回をヒット5本 3失点と先発の役割を果たした



三井もツーベースを含む2安打、2打点の活躍



先制は大畑のタイムリーツーベースからこの日2安打の活躍。



4回 川島は変化球を巧くとらえ、レフト前に適時打を放つ



5回塩田はアウトコースを捉え、レフトへタイムリーヒット



俵は右中間へ適時スリーベースを放つ

5 GOLD'S GYM × 6 警視庁野球部

試合後半 警視庁の猛攻に対し 流れを断ち切れず よもやの敗退



2014年10月4日 府中市民球場

2014年度 東京都クラブ秋季大会 準決勝

GOLD'S GYM	200 210 000	5
警視庁野球部	000 000 042	6

【打者】 打 安 点 得 振 四死 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1(左) 川島	4	1	2	0	0	1	四球	中飛	---	左前	---	右飛	---	飛	---
2(中) 末政	3	1	0	1	1	1	死球	---	中前	三振	---	---	---	中飛	---
PH 鹿子島	1	0	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	左飛
3(遊) 大畑	4	1	0	0	0	1	四球	---	二直	---	三飛	---	中前	---	二ゴ
4 DH 米倉	4	0	0	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
5(三) 塩田	4	2	2	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(右) 川村	2	1	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 田中	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7(一) 俵	4	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(二) 三井	3	1	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
二 仁田	0	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(捕) 河西	2	0	0	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH捕 岡芹	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	33	8	5	5	3	7									

【投手】 回数 打者 球数 安打 三振 四死球 失点 自責点

嶋田	8	35	126	9	6	0	4	3
種市	1	5	27	3	0	1	2	2

ゴールドジムは初回、連続四球から満塁のチャンス。5番塩田がアウトコースのストレートを叩き、レフトの頭上を超える適時三塁打で2点を先取。4回にもヒットの川村、三井を2、3塁におき、川島がレフト前に2点適時打。5回にも川村の犠牲フライで1点を追加。少ないヒットで効率的に点数を重ねます。先輩嶋田は安定した投球で7回まで0点に抑えます。しかし、疲れの見える8回、先頭打者をヒットでだすと次打者に本塁打を浴びます。さらに連続ヒットからタイムリーを許し2点を与え、この回4点を失います。すると9回、マウンドに立った種市は連続ヒットと四球などで満塁とすると、パスボールで1点を失い同点。さらに5番への4球目が一塁強襲のサヨナラヒットとなり、試合終了となりました。



初回5番塩田がレフトの頭上を超えるタイムリースリーベースで2点を先取る



3回 末政はセンター前で、センターがハンプルする間に2塁を陥れる好走塁



4回 三井はアウトコースの変化球をとらえレフト前ヒット



4回先頭の川村は初球を叩きセンター前ヒット5回にも犠牲飛で1打点



7回 大畑はセンター前ヒットで出塁



8回に岡芹はライト前に復帰後 初ヒット

2014年11月2日 あきる野市民球場

2014年度 あきるの市長杯

都幾川硬式野球団	000 201 001	4
GOLD'S GYM	000 100 000	1

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 欠端	2	0	0	0	1	0	三振	---	遊ゴ	---	---	---	---	---	---
一捕 岡芹	0	0	0	0	0	3	---	---	---	---	四球	---	四球	---	四球
PR 佐藤	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
2(中) 鈴木	2	0	0	0	0	0	遊ゴ	---	---	遊失	---	---	---	---	---
左 川島	2	2	0	0	0	1	---	---	---	---	四球	---	左安	---	左安
3(遊) 塩田	5	2	0	1	0	0	中飛	---	---	中安	左飛	---	遊ゴ	---	左安
4(三) 川村	5	0	0	0	0	0	---	中飛	---	三ゴ	補那飛	---	右飛	---	右飛
5(左) 右俵	3	0	0	0	1	1	---	右飛	---	四球	---	三振	---	三飛	---
中 末政	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(一) 右田中	2	2	1	0	0	2	---	三安	---	左安	---	四球	---	四球	---
7 DH 西郷	3	1	0	0	2	0	---	三振	---	左安	---	三振	---	---	---
PH 手塚	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	二直	---
8(捕) 河西	4	0	0	0	0	0	---	---	左飛	三ゴ	---	中飛	---	---	二直
9(二) 三井	2	0	0	0	0	2	---	---	四球	---	投ゴ	---	四球	---	一ゴ
計	31	7	1	1	4	9									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	6	26	88	7	5	2	3	2
本間	3	12	54	2	3	1	1	0

四回、先発の嶋田は先頭打者にヒットを許すと、自らのエラー、死球などもあり、この回2点を失います。その裏、ゴールドジムは先頭の鈴木相手のエラーで出塁すると、塩田がヒットで続き、田中のレフト前タイムリーで一点を返します。

その後、単発でヒットはできるものの得点につながらず、六回にも一点を失いその差が開きます。

7回からは本間が登板し、粘り強い投球で一点を抑えるものの、湿りがちな打線はつながらず、あれよという間に最終回。川島、塩田がヒットで出塁し、粘りを見せるものの得点にはつながらず敗退。追いつけそうで追いつけず、いつの間にか試合終了という結果はもとより、後味の悪い試合となりました。



塩田は4回と9回にヒットで2安打。



嶋田の後を受けた本間。1失点を喫すも5回を粘り強く投げた。



田中は4回にレフト前にタイムリーを放つ。



途中からの出場となった川島は、技ありのレフト前で2安打。

2014年11月3日 あきる野市民球場

2014年度 あきるの市長杯

西多摩倶楽部	000 001 000	2
GOLD'S GYM	100 000 32x	6

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	4	1	0	0	1	1	一ゴ	---	四球	---	二失	---	右安	三振	---
2(中) 末政	2	0	0	0	0	0	投ゴ	---	一審打	---	二ゴ	---	---	---	---
PH 西郷	1	1	2	0	0	0	---	---	---	---	---	---	中安	---	---
PR 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
3(遊) 塩田	3	0	0	1	0	1	死球	---	一ゴ	---	---	中飛	左飛	---	---
4 DH 米倉	4	1	1	0	1	0	右中二	---	---	二ゴ	---	三振	遊ゴ	---	---
5(左) 川村	3	0	0	1	1	1	中飛	---	---	右飛	---	三振	四球	---	---
6(一) 右俵	4	1	0	1	0	0	---	中飛	---	二飛	---	---	右飛	左二	---
7(右) 中鹿子島	3	1	1	1	0	1	---	中飛	---	---	投ゴ	---	四球	中安	---
8(捕) 村瀬	3	1	1	1	0	0	---	三ゴ	---	---	遊ゴ	---	左安	右補飛	---
9(二) 仁田	4	2	1	1	0	0	---	---	一ゴ	---	中安	---	右安	三直	---
計	31	8	6	6	3	4									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
岩田	9	35	118	6	9	7	2	2

ゴールドジムは初回、死球の塩田が米倉の右中間へタイムリーツーベースを放ち早々と先制します。

先発の岩田は、伸びのある速球と、緩急を交えた投球で、5回まで0点に抑える好投を見せます。しかし、六回死球とヒットで出塁させると連続三振でツーアウトを奪った後に、レフト前にタイムリーを許し一点を献上。しかし、終わってみれば、これが唯一の失点となりました。

7回にGG打線は死球と出塁したランナーを村瀬のレフト前タイムリーで還すと、仁田、川島、西郷の連打で計3点。九回にも俵の逆方向への二塁打と鹿子島のセンター前タイムリーなどで、2点を奪い試合を決定づけました。

前回の試合の鬱憤を晴らす試合展開となりました。



4回、レフト前にクリーンヒットを放つ西郷



先制は米倉が放った右中間への二塁打。打球の速さに相手チームもうなる



9回完投勝利の岩田



7回にヒットを放つ川島



仁田はこの日2安打の活躍



俵は最終回にレフトへツーベース

2014年11月8日 あぎる野市民球場

2014年度 あぎるの市長杯

全大宮野球団	000 000 010	1
GOLD'S GYM	010 000 03x	4

[打者]	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(三) 三井	1	0	0	0	1	0	三振	---	投機打	---	投機打	---	---	---	---
左 川島	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	中飛	---
2(中) 鈴木	2	0	0	0	0	0	---	---	---	右飛	---	---	---	---	---
PH 西郷	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
中 未政	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
3(遊) 塩田	4	0	0	0	1	0	投ゴ	---	捕邪飛	---	三振	---	---	---	---
4 DH 米倉	4	2	0	0	0	0	---	---	中安	---	左飛	---	---	---	---
5(左) 田中	4	2	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(一) 俵	2	0	1	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 鹿子島	1	1	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
捕 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7(右三) 川村	4	2	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(捕) 村瀬	4	2	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(二) 仁田	3	1	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	32	10	4	4	2	2									

[投手]	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
岩田	7	20	90	3	1	2	0	0
本田	0 1/3	3	9	1	0	1	0	1
吉田	0 0/3	1	5	0	0	1	0	0
本間	0 2/3	2	9	0	2	0	0	0
嶋田	1	4	23	0	3	1	0	0

ゴールドジムは二回に米倉のヒット、川村のタイムリーで先制し、肌寒さをもともしないプレーで試合を盛り上げました。

今回の試合は岩田の投球が光りました。速球を主体に、ストライク先行で打者を追い込み、テンポ良い投球でアウトを重ねます。

7回を散發の3安打、0点に抑える好投でその役目を終えました。その後、後続の投手が一点を失うものの、打撃陣が投手の好投に応えます。

八回に米倉、川島がヒットで出塁すると、川村走者一掃のタイムリースリーベースで2点、その後も一点を追加し、危なげない試合内容で勝利しました。



川村は2本のスリーベースと好調をキープ



7回を3安打無失点と安定した投球を見せた岩田



果敢にホームを狙う田中 打っても二塁打を含む2安打



米倉も2安打の活躍



村瀬は2安打で得点に絡む活躍を見せた

2014年11月15日 あぎる野市民球場

2014年度 あぎるの市長杯

相模原クラブ	000 315 000	9
GOLD'S GYM	200 113 21x	10

[打者]	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(中) 鈴木	2	1	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH左 川島	2	1	1	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
2(二) 三井	2	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
二 仁田	2	1	0	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
3(左) 西郷	2	1	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
一捕 村瀬	2	1	1	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
4 DH 手塚	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 米倉	3	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
5(遊) 塩田	4	0	0	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(三) 川村	2	0	0	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH遊 大畑	1	1	2	2	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7(-)右 俵	5	2	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(右)中 田中	3	1	0	0	0	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 岡岸	2	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(捕) 河西	1	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 欠端	1	0	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH(中) 鹿子島	1	0	1	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	35	10	8	10	3	9									

[投手]	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	5 0/3	24	98	7	4	2	4	3
佐藤	0 1/3	2	10	0	0	1	0	1
本間	0 1/3	7	29	4	0	1	5	3
吉田	1 1/3	4	10	1	1	0	0	0
岩田	2	3	33	0	0	0	0	0

あぎる野市長杯最終戦は、互いに一步も引かない打撃戦となりました。初回、先頭の鈴木がライトへ三塁打、西郷のセンター前タイムリーで2点を先制します。しかし四回から打撃戦となります。3、4、5回で一挙9点を失うとGG打線も負けじと反撃します。四回に、相手のミスと四球を絡め一点、5回には村瀬、米倉の右中間へのタイムリースリーベースで一点、六回には、四球を絡め、俵のツーベース、川島のスリーベースなどで3点を返します。なおも攻撃の手を緩めず、7回には岡岸、仁田のヒットで2点、八回にも大畑、俵がこの日2本目となるツーベースで一点を奪い、僅差の試合で競り勝ちました。最後は岩田が締め勝利しました。



初回、先頭の鈴木は先制のきっかけとなるスリーベースを放つ



最終戦、先発の嶋田はシーズン終盤、疲れが見えたか。



米倉は5回、右中間にスリーベースを放つ



俵は6回と8回に二塁打を放つ。

2014年10月24日 皇子山球場

第32回 JABAびわこ杯 一回戦

八尾ベースボールクラブ	000 010 0	1
GOLD'S GYM	250 003 x	10
(7回コールドゲーム)		

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	2	0	0	1	0	2	死球	四球	遊ゴ	---	---	左飛	---	---	---
2(中) 末政	3	3	2	2	0	0	二塁打	左安	---	右安	---	遊安	---	---	---
3(遊) 塩田	1	0	0	2	0	3	死球	中飛	---	四球	---	四球	---	---	---
4 DH 米倉	4	2	2	3	0	0	左失	中三	---	中直	---	左安	---	---	---
5(三) 川村	3	0	0	0	1	0	遊ゴ	二飛	---	ニゴ	---	---	---	---	---
PH 西郷	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	三振	---	---	---
右 鹿子島	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(一) 俵	4	3	5	0	1	0	右安	中安	---	三振	---	右二	---	---	---
一 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
7(右) 田中	3	0	0	0	0	0	右飛	遊ゴ	---	---	右飛	---	---	---	---
PH 三三井	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	三振	---	---	---
8(捕) 村瀬	2	0	0	1	0	1	---	四球	ニゴ	---	ニゴ	---	---	---	---
捕 岡芹	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(二) 仁田	3	1	0	1	0	0	---	左安	遊飛	---	ニゴ	---	---	---	---
計	27	9	9	10	3	6									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
岩田	6	23	77	3	7	2	1	1
吉田	02/3	2	10	0	0	0	0	0
嶋田	01/3	1	7	0	0	0	0	0

盤石の投手陣 相手の拙攻にからめ大勝

晴 天の中迎えた初戦。初回、死球を絡め得点圏にランナーを進めると、俵がライトへタイムリーヒットを打ち早々と3点を先制します。二回には、満塁で末政がレフトへタイムリーを打ち3点を。さらに米倉がセンターへタイムリースリーベースを打ち、この回5点を奪います。

投げては岩田が6回まで、3安打7奪三振、1失点と安定した投球内容で相手につけている隙を与えません。するとその裏、GG打線はヒットの末政と米倉を塁上に置き、俵がライトへタイムリーツーベースを打ち3点を奪い試合を決定づけます。

岩田の後を受け、7回は吉田、嶋田の投手リレーで締め、2回戦進出を決めました。



2014年10月25日 皇子山球場

第32回 JABAびわこ杯 二回戦

GOLD'S GYM	000 000 000	0
ミキハウスREDS	001 000 05x	6

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	3	0	0	0	1	1	四球	---	---	ニゴ	---	ニゴ	---	三振	---
2(中) 末政	3	0	0	0	2	0	投飛	---	---	三振	---	三振	---	---	---
PH 岡芹	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
3(遊) 塩田	4	1	0	0	1	0	中飛	---	左安	---	---	中飛	---	---	三振
4 DH 米倉	4	1	0	0	1	0	---	ゴ	---	遊ゴ	---	左二	---	---	三振
5(三) 川村	2	0	0	0	1	---	三邪飛	---	---	死球	---	左飛	---	---	---
6(一) 俵	2	0	0	2	1	---	三振	---	---	三振	---	四球	---	---	---
7(右) 鹿子島	3	1	0	0	0	---	---	---	ニゴ	---	左二	---	左飛	---	---
8(捕) 河西	1	0	0	0	0	---	---	---	捕邪飛	---	---	---	---	---	---
PH 村瀬	2	0	0	0	0	---	---	---	---	---	二飛	---	---	ニゴ	---
9(二) 仁田	2	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 三三井	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	左飛
計	33	3	3	0	9	3									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	71/3	32	99	7	4	2	2	4
種市	01/3	6	18	2	0	2	2	1
本間	01/3	1	3	0	0	0	0	0

2013年全日本クラブ選手 準優勝チーム 3安打完封負けと力の差を見せつけられる

三回、ここまで好投を見せていたゴールドジム先発の嶋田は、先頭打者にツーベースを許すと、1番の犠牲フライで1点を失います。

GG打線は好投手を揃えた相手投手陣を打ちあぐね、四回に塩田、5回に鹿子島が二塁打、7回にも米倉がレフトへ二塁打を放つものの、打線がつながりません。すると八回、嶋田は4本のヒットを許したところで種市に交代。その種市も連続ヒットでこの回計5点を与えます。

最後まで、この5点が大きいのしかかり、結局6対0という完敗となりました。力の差を見せつけられる一戦となりましたが、次戦への課題も見えた試合でした。



2014年4月20日

関東クラブ交流戦

GOLD'S GYM	000 200 0	2
千葉熱血MAKING	003 100	4

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 田中	2	0	0	0	1	0	三振	---	右飛	---	---	---	---	---	---
中 鈴木	2	1	0	0	0	0	---	---	---	---	二ゴ	---	右安	---	---
2(右)左川島	2	1	0	1	0	2	遊飛	---	---	中安	四球	---	四球	---	---
3(一) 俵	4	1	0	0	1	0	二直	---	---	三振	右安	---	二飛	---	---
4(三) 川村	2	0	0	1	0	2	---	三ゴ	---	四球	四球	---	左飛	---	---
5(遊) 塩田	2	0	0	0	0	1	---	三ゴ	---	四球	中飛	---	---	---	---
6(中)右末政	2	1	1	0	1	1	---	右二	---	四球	---	三振	---	---	---
7(二) 仁田	3	0	1	0	0	1	---	二ゴ	---	二ゴ	---	三振	---	---	---
8 DH 手塚	3	0	0	0	0	0	---	---	---	三ゴ	右飛	---	---	---	---
9(捕) 河西	3	1	0	0	2	0	---	---	---	三振	---	中安	---	三振	---
計	25	5	2	2	5	7									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
齋藤	32/3	19	64	6	1	2	3	3
佐藤	11/3	8	23	3	0	1	1	0
植木	1	1	22	0	1	2	0	0

2014年7月20日

関東クラブ交流戦

GOLD'S GYM	010 400 42	11
相模原クラブ	000 000 10	1

(8回コールドゲーム)

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	7
1(中) 鈴木	2	1	0	0	0	0	右安	---	左飛	---	---	---	---	---
PH中 末政	3	0	1	0	2	0	---	---	---	三振	---	三振	三ゴ	---
2(遊) 鹿子島	3	0	0	0	0	0	二ゴ	---	二ゴ	左飛	---	---	---	---
PH左 川島	1	1	0	2	0	1	---	---	---	---	---	---	四球	右安
3(左) 西郷	2	0	0	0	0	0	二ゴ	---	遊ゴ	---	---	---	---	---
PH左 川村	3	2	1	2	0	0	---	---	---	---	遊ゴ	---	左安	左安
4 DH 米倉	5	1	1	2	0	0	---	左安	---	中飛	中飛	---	中失	一飛
5(三) 塩田	5	2	1	2	0	0	---	中安	---	遊失	左飛	---	中安	三飛
6(右) 田中	5	3	1	1	2	0	---	三振	---	右安	---	左安	三振	右安
7(一) 俵	4	1	1	1	1	1	---	三振	---	四球	---	三飛	中安	一飛
8(捕) 河西	3	2	3	1	0	0	---	右安	---	左安	---	左飛	---	---
PH捕 岡芹	1	0	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	二ゴ	---
9(二) 仁田	4	2	1	0	0	0	---	投ゴ	---	三安	---	左失	右安	---
計	41	15	11	11	5	2								

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
岩田	4	36	130	3	4	6	1	1



2014年7月6日

東京都クラブリーグ

GOLD'S GYM	408 00	12
東京好球倶楽部	000 00 (5回コールドゲーム)	0

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	3	4	5
1(遊) 鹿子島	3	0	1	1	0	1	二ゴ	遊飛	四球	---	中飛	---
左 川島	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---
2(中) 鈴木	2	1	2	2	0	2	四球	---	中安	四球	---	中飛
3(左) 西郷	2	2	1	0	0	1	右安	---	二安	四球	---	---
遊 大畑	1	1	0	1	0	0	---	---	---	---	---	右安
4(三) 川村	2	1	2	2	0	2	四球	---	四球	左安	---	二飛
5(右) 田中	4	1	3	3	0	0	本塁打	---	三ゴ	二飛	---	中飛
6(捕) 河西	3	1	0	0	0	0	一飛	---	一ゴ	---	左安	---
7(一) 欠端	2	0	1	1	0	1	遊ゴ	---	三失	---	四球	---
8 DH 岡芹	3	1	2	2	1	0	---	三振	右安	---	中飛	---
9(二) 仁田	2	0	0	0	1	1	---	右飛	四球	---	三飛	---
計	24	8	12	12	1	8						

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
佐藤	4 1/3	13	49	0	1	0	0	0
岩田	0 2/3	2	8	0	1	0	0	0

2014年7月6日

東京都クラブリーグ

GOLD'S GYM	100 041 000	6
警視庁野球部	000 110 100	3

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(左) 川島	3	2	3	3	0	2	四球	---	三飛	---	死球	本塁打	---	左安	---
2(中) 末政	5	1	1	0	3	0	二ゴ	---	三振	---	三振	中安	---	三振	---
3(三) 大畑	2	0	1	1	0	3	中飛	---	---	四球	四球	---	---	二ゴ	---
4(遊) 塩田	5	2	1	1	0	0	遊安	---	---	左飛	左安	遊ゴ	---	---	遊飛
5(右) 川村	3	1	0	0	1	1	三振	---	---	一ゴ	四球	---	---	---	中安
右 田中	1	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	三振	---
6(一) 俵	4	2	0	0	0	1	---	捕飛	---	四球	中安	---	遊飛	---	右安
7(二) 三井	3	1	0	0	0	0	---	左安	---	中飛	一ゴ	---	---	---	---
二 仁田	2	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	遊飛	---
8 DH 手塚	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 岡芹	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 西郷	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	左飛	---
PH 鈴木	2	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三ゴ 右飛
9(捕) 村瀬	4	2	0	1	0	0	---	---	---	左飛	---	左安	二ゴ	---	左安
計	37	11	6	6	5	7									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	5	25	101	6	1	6	2	2
吉田	2	9	31	1	1	2	1	1
米持	2	7	27	0	2	1	0	0

2014年10月12日

東京都クラブリーグ

REVENGE99	000 000 0	0
GOLD'S GYM	021 030 1	7

(7回コールドゲーム)

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(中) 鈴木	2	0	0	0	0	0	遊ゴ	三ゴ	---	---	---	---	---	---	---
二 仁田	2	0	0	0	0	0	---	---	---	右飛	右飛	---	---	---	---
2(遊) 鹿子島	2	0	0	0	1	1	四球	---	左飛	二ゴ	---	---	---	---	---
末政	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	投安
3(左) 西郷	3	0	0	1	1	0	二ゴ	---	三振	---	左飛	---	---	---	---
左 川島	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	中安
4(三) 川村	3	1	0	1	0	1	右飛	---	左二	---	四球	三飛	---	---	---
5(二)遊 塩田	4	2	1	2	0	0	---	右中二	中失	---	左安	一ゴ	---	---	---
6(右) 田中	3	1	2	2	0	1	---	---	四球	中飛	---	左中二	三直	---	---
7 DH 手塚	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 米倉	3	1	0	1	0	0	---	---	---	右飛	---	三ゴ	---	---	中安
8(捕) 河西	3	1	2	0	0	0	---	---	---	二ゴ	---	---	---	---	右飛
PH捕 村瀬	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	右飛
9(一) 俵	2	2	1	0	0	1	---	---	右三	---	中安	四球	---	---	---
PH 岡芹	1	1	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	左中二
計	32	11	7	7	1	4									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
本間	4	16	69	0	2	5	0	0
野中	1 2/3	5	17	0	0	1	0	0
吉田	1 1/3	4	6	0	1	0	0	0

2014年10月12日

東京都クラブリーグ

GOLD'S GYM	011 020 001	5
エスプライド鉄腕	000 000 001	1

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(三) 三井	3	0	0	0	1	0	左飛	---	三失	---	三犠打	---	---	---	---
PH右 田中	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	中安
2(一) 村瀬	3	2	1	1	0	0	中飛	---	右安	---	右中三	---	---	---	---
PH三 川村	1	0	1	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	左飛
3(左) 西郷	1	0	0	0	0	0	二ゴ	---	---	---	---	---	---	---	---
左 川島	3	1	2	0	0	0	---	---	---	左安	---	左犠飛	---	---	右飛
4 DH 米倉	3	1	0	1	0	0	---	---	---	中安	遊飛	---	---	---	捕飛
PH 手塚	1	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	一ゴ
5(遊) 鹿子島	3	1	0	0	0	0	---	---	---	左二	---	---	---	---	三飛
遊 塩田	1	1	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	中安
6(右) 俵	3	1	1	0	0	0	---	---	---	右犠飛	---	---	---	---	遊飛
7(中) 末政	3	0	0	0	1	1	---	---	---	遊ゴ	---	---	---	---	四球
8(捕) 岡芹	3	0	0	0	1	0	---	---	---	---	---	---	---	---	三振
PH捕 河西	1	1	0	1	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(二) 仁田	1	0	0	2	0	2	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	31	9	5	5	3	3									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
本田	3	11	49	3	1	0	0	0
鈴木	1	4	11	1	1	0	0	0
吉田	1	4	18	0	0	1	0	0
岩田	2	7	29	1	1	0	0	0
嶋田	2	9	33	5	2	0	1	1

2014年11月24日 上尾市営球場

東京都クラブリーグ

TOKYO METS	030 000 103	7
GOLD'S GYM	312 000 011	8

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1(一) 欠端	0	0	0	1	0	1	四球	---	---	---	---	---	---	---	---
一捕 村瀬	3	2	1	1	0	0	---	左中二	ニゴ	---	儀飛	---	右三	---	---
2(二) 三井	2	1	1	0	0	0	投儀打	中前	---	---	---	---	---	---	---
二 仁田	2	0	0	0	2	0	---	---	---	---	三振	---	三振	---	---
3(左) 鹿子島	3	1	0	1	1	0	三失	左安	---	三振	---	---	---	---	---
左 川島	2	1	0	1	1	0	---	---	---	---	---	---	中安	三振	---
4 DH 米倉	4	1	1	1	1	0	中安	三飛	---	右飛	---	---	三振	---	---
5(右) 俵	3	2	2	1	1	1	右中三	---	遊安	---	三振	---	---	---	---
PH捕 岡芹	0	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
6(三) 川村	2	1	1	1	0	1	死球	---	中安	---	遊ゴ	---	左儀飛	---	---
7(遊) 塩田	3	0	0	0	1	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
8(中) 末政	4	1	2	0	0	0	---	---	---	---	---	---	---	---	---
9(捕) 河西	1	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
PH 鈴木	0	0	0	0	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
右 田中	0	0	0	1	0	1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
計	29	10	8	8	7	8									

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
嶋田	6	28	88	3	4	7	4	4
本間	1	5	54	1	2	1	0	0
岩田	2	12	54	4	1	2	3	3

2014年12月7日

東京都クラブリーグ

GOLD'S GYM	142 49	20
東京弥生クラブ	000 00 (5回コールドゲーム)	0

【打者】	打	安	点	得	振	四死	1	2	3	4	5	5	
1(中) 鈴木	5	3	4	2	0	0	右安	二失	中飛	左二	中二	---	
2(二) 仁田	2	0	0	2	0	3	死球	四球	四球	ニゴ	---	---	
PH一 河西	0	0	0	0	0	0	---	---	---	---	---	---	
3(遊) 鹿子島	5	2	4	2	1	0	三振	三ゴ	ニゴ	---	中安	中安	
4(左) 川村	2	2	0	1	0	1	右安	右二	---	四球	---	---	
PH左 川島	2	0	0	1	0	0	---	---	---	---	ニゴ	遊失	
5(右) 田中	4	3	2	2	0	1	左安	中飛	---	左安	中安	四球	
6(遊) 三井	4	3	4	3	0	1	ニゴ	---	右安	中三	四球	右安	
7(捕) 岡芹	5	2	3	2	0	0	---	---	---	---	中三	中二	左飛
8(一) 欠端	3	2	3	3	0	1	---	---	---	---	---	---	---
9DH 手塚	4	3	0	2	0	0	---	---	---	---	---	---	---
計	36	20	20	20	1	7							

【投手】	回数	打者	球数	安打	三振	四死球	失点	自責点
佐藤	5	16	64	1	7	0	0	0



2014年 個人成績一覧

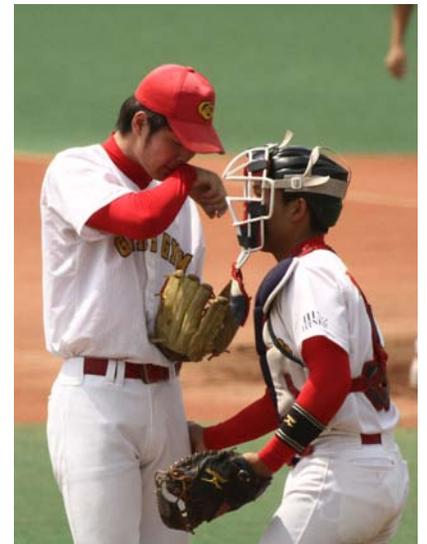
名前	打率	打席	打数	安打	単打	二塁	三塁	本塁	打点	得点	四死球	三振	犠打	犠飛
川島 尚仁	.359	109	92	33	27	3	2	1	14	18	16	10	0	1
田中 道太郎	.359	75	64	23	18	4	0	1	12	15	9	6	2	0
三井 悠嗣	.333	64	51	17	15	2	0	0	8	12	8	6	5	0
大畑 亮	.318	78	66	21	15	5	1	0	16	14	8	5	0	4
米倉 拓也	.313	49	48	15	10	3	2	0	7	9	1	4	0	0
村瀬 隆浩	.310	72	58	18	13	3	2	0	6	9	8	4	5	1
塩田 貴大	.295	108	95	28	22	6	0	0	12	17	10	9	1	2
俵 北斗	.289	101	90	26	18	7	1	0	12	8	10	12	0	1
末政 純	.280	100	82	23	18	4	1	0	11	11	13	22	4	1
川村 拓真	.263	94	76	20	11	8	0	1	17	13	15	8	0	3
鹿子島 宜美	.257	38	35	9	5	4	0	0	8	10	3	2	0	0
仁田 真彦	.217	74	60	13	11	2	0	0	4	10	13	8	1	0
河西 大樹	.184	42	38	7	7	0	0	0	5	4	3	5	1	0
30打席以下														
欠端 春来	.364	15	11	4	3	1	0	0	5	8	4	2	0	0
鈴木 孝幸	.320	28	25	8	5	2	1	0	7	5	3	1	0	0
西郷 勇太	.280	27	25	7	6	1	0	0	6	4	2	7	0	0
岡芹 隼	.278	24	20	5	2	2	1	0	6	4	4	3	0	0
手塚 栄司	.250	12	12	3	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0
上田 浩明	.000	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
飛田 規光	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出井 一茂	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

チーム総合 .277

名前	出塁率
川島 尚仁	.450
田中 道太郎	.438
三井 悠嗣	.424
村瀬 隆浩	.388
末政 純	.375
川村 拓真	.372
大畑 亮	.372
俵 北斗	.356
仁田 真彦	.356
塩田 貴大	.355
米倉 拓也	.327
鹿子島 宜美	.316
河西 大樹	.244
30打席以下	
欠端 春来	.533
岡芹 隼	.409
鈴木 孝幸	.393
西郷 勇太	.333
手塚 栄司	.250
上田 浩明	.000
飛田 規光	-
出井 一茂	-

名前	防御率	投球回数	自責点	被安打	奪三振	与四死球
佐藤 守	0.73	12 1/3	1	4	8	5
吉田 創	1.59	11 1/3	2	8	4	6
米持 優一	2.05	30 2/3	7	25	17	24
岩田 匡矢	2.45	36 2/3	10	27	29	19
齋藤 康樹	2.77	26	8	25	15	15
本間 奨基	2.89	9 1/3	3	6	9	8
嶋田 健人	3.09	81 2/3	28	74	52	35
植木 龍之介	6.35	5 2/3	4	4	5	7
種市 祐也	8.00	16	17	29	9	19
4イニング以下						
本田 優一郎	2.70	3 1/3	1	4	1	1
鈴木 孝幸	0.00	1	0	1	1	0
齋藤 圭祐	0.00	1	0	0	1	1
野中 俊孝	0.00	0	0	0	0	1
鈴木 孝幸	0.00	0	0	0	0	1
相原 佳人	-	0	0	0	0	0

チーム総合 4.01



2014年 オープン戦 試合結果

日付	G-相手		対戦相手	日付	G-相手		対戦相手	日付	G-相手		対戦相手
2月27日	2-7	×	鷺宮製作所	3月28日	15-3	○	一橋大学	8月14日	9-2	○	早稲田大学
3月1日	3-8	×	国際武道大学	4月2日	0-0	-	東京経済大学	8月15日	10-3	○	慶應大学
3月4日	5-5	-	明治学院大学	4月6日	6-5	○	明治学院大学	8月20日	2-2	-	日本ウェルネススポーツ大学
3月6日	2-15	×	早稲田大学	4月12日	4-2	○	全府中野球倶楽部	8月20日	9-3	○	日本ウェルネススポーツ大学
3月15日	2-11	×	東京国際大学	5月5日	8-8	-	茨城ゴールデンゴールズ	8月23日	1-2	×	流通経済大学
3月19日	8-2	○	平成国際大学	7月12日	9-1	○	西多摩クラブ	8月24日	7-6	○	国土館大学
3月21日	6-5	○	慶応大学	7月21日	10-10	-	EMANON	8月30日	2-1	-	慶應大学
3月22日	5-2	○	八戸大学	7月27日	11-2	○	亜細亜大学	8月31日	2-7	×	日本橋学館大学
3月23日	9-8	○	上武大学	8月13日	6-5	○	東京大学	9月17日	4-5	×	神奈川大学
								10月19日	15-1	○	茅ヶ崎サザンカイツ

2014 ゴールドジムベースボールクラブ 公式イヤーズブック

GOLD'S GYMベースボールクラブ 平成26年12月20日発行 撮影/荒関顕慶 デザイン/マーケティングチーム